

時系列統計データ検索サイト 検索・グラフ機能かんたんマニュアル

目 次

データ検索編

日本銀行の代表的な時系列統計データの最新値をワンクリックですぐに見たい。	2 ページ
データ系列を探すためにはどうしたらよいか。	
メニュー検索を使って探す。	4 ページ
データ系列の名前でさがす（データ系列の名前がある程度わかっている場合には）。	10 ページ
データ系列のコードでさがす（毎回、同じデータコードのデータを利用したい場合には）。	13 ページ
検索機能を使ってちょっと高度な使い方がしたい。	
たとえば、短観で、同一業種に対して複数の違う項目のデータ系列をさがすためには（「系列名称検索」を利用したちょっと高度な検索の方法です）。	16 ページ
物価統計のデータを一度にダウンロードしたい。 ！物価統計以外に、資金循環勘定、短観でも、データを一度にダウンロードすることが可能です。	18 ページ

グラフ作成編

日本銀行の統計データをグラフで見たい、統計データを使って簡単なグラフを描いてみたい。	
主要指標グラフを見る。	20 ページ
検索したデータ系列を使ってグラフを描く。	22 ページ
グラフを描きかえる。 （１）グラフの種類を変える （２）グラフの期種を変える （３）新たにデータ系列を追加する （４）データ系列を削除する （５）景気後退期を非表示にする （６）積み上げの順番を入れ替える	29 ページ 33 ページ 34 ページ 39 ページ 41 ページ 42 ページ
グラフを印刷する。	44 ページ
グラフの情報やデータを確認する。	47 ページ
グラフ画面の機能説明	49 ページ

データ検索編

日本銀行の代表的な時系列統計データの最新値をワンクリックですぐに見たい。

主要時系列統計データ表で見ると、ダウンロードする。

検索サイトホームページ上方の「主要時系列統計データ表」のコーナーから、「日次」、「週次」、「月次」、「四半期」、「年度」等のリンクをクリックするだけで統計データ表が表示されます。

なお、それぞれのデータ表にどんなデータ系列が入っているかを見たい場合には、「掲載データ一覧」をクリックすると、各データ表の掲載データ一覧が表示されます。

時系列統計データ検索サイトホームページ

日本銀行
Bank of Japan

時系列統計データ検索サイト

本サイトは、日本銀行が公表している統計の時系列統計データの検索・閲覧を目的としており、全ての統計データの検索・ダウンロードやグラフ表示が可能です。

◎検索・グラフ機能の使い方

主要時系列統計データ表

◎日次 ◎週次 (月曜発表) ◎月次 ◎四半期 ◎年度 ◎掲載データ一覧

◎統計別検索

◎掲載サイト統計一覧・掲載リスト閲覧一覧 ◎メニュー検索 ◎メニュー掲載

日本銀行関係 (BOJ) [1]
通貨関係 (MAS) [1]
民間金融機関の資産・負債 (FA) [1]
預金・貸出関係統計 (DL) [1] 金融 (金融以外)
市場マーケット関係統計 (SD) [1] 金融 (金融)
国際関係 (FWD) [1]

掲載 (COV) [1]
物価関係 (PSD) [1]
財政関係統計 (FIS) [1]
国際収支・貿易関係 (RPP) [1]
通貨関係 (FF) [1]
その他 (OT) [1]

◎全時系列統計データの検索

統計検索・カテゴリ・データ系列名等による検索 | データコードの直接入力

このように統計データ表上で統計データを見ることができるほか、統計データ表をダウンロードすることもできます。

統計データ表をダウンロードしたい場合には、統計データ表左上方の「ダウンロード」のボタンを押すだけです。ボタンを押すと「ファイルのダウンロード」の画面が開きますので、「保存」を押し、保存先を指定してダウンロードをしてください。

また、各データコード横のリンクをクリックすると、簡易なグラフを表示することもできます。

ご自身で検索したデータ系列を対象としたグラフの作成は、「[.グラフ描画編](#)」をご覧ください。

主要時系列統計データ表

データをダウンロードする。

簡易グラフを表示する。

	基準貸付利率 普通貸付(年率)および普通貸付 利率	コールレート 無担保コール(1ヶ月)日次/ 金利	為替相場(東京インターバンク相場) 東京市場 ドル・円 ユロ・円 同時率	為替相場(東京インターバンク相場) 東京市場 ドル・円 ユロ・円 中心制
	HTMA01L12	STSTR01L12	STFX01B04	STFX01B05
	年%	年%	円/米	円/米
1998/3/1		0.5	ND	ND
1998/3/2		0.5	ND	ND
1998/3/3		0.5	ND	ND
1998/3/4		0.5	ND	ND
1998/3/5		0.5	0.49	132.85
1998/3/6		0.5	0.42	133.59
1998/3/7		0.5	0.4	133.12
1998/3/8		0.5	0.38	133.01
1998/3/9		0.5	0.33	131.39
1998/3/10		0.5	ND	ND
1998/3/11		0.5	ND	ND
1998/3/12		0.5	0.45	132.29
1998/3/13		0.5	0.49	132.55
1998/3/14		0.5	0.48	130.89
1998/3/15		0.5	ND	ND
1998/3/16		0.5	0.4	128.9
1998/3/17		0.5	ND	ND

データ系列を探すためにはどうしたらよいか。

たとえば、「実効為替レート」を探したい場合にはどうすればよいでしょうか。

メニュー検索を使って探す。

「メニュー検索」は、メニューのリストを辿って、目的のデータ系列を探せるようにしたものです。

！メニューの構造は、検索サイトホームページに掲載した「検索サイト格納統計一覧・検索リスト階層一覧」でも確認することができます。

検索サイトホームページ中ほどの「時系列統計データ検索・グラフ」「統計別検索」のコーナーから、探している統計のリンクをクリックします。「実質実効為替レート」は、「各種マーケット関連統計」のなかに格納されていますので、「各種マーケット関連統計(ST)」をクリックします。

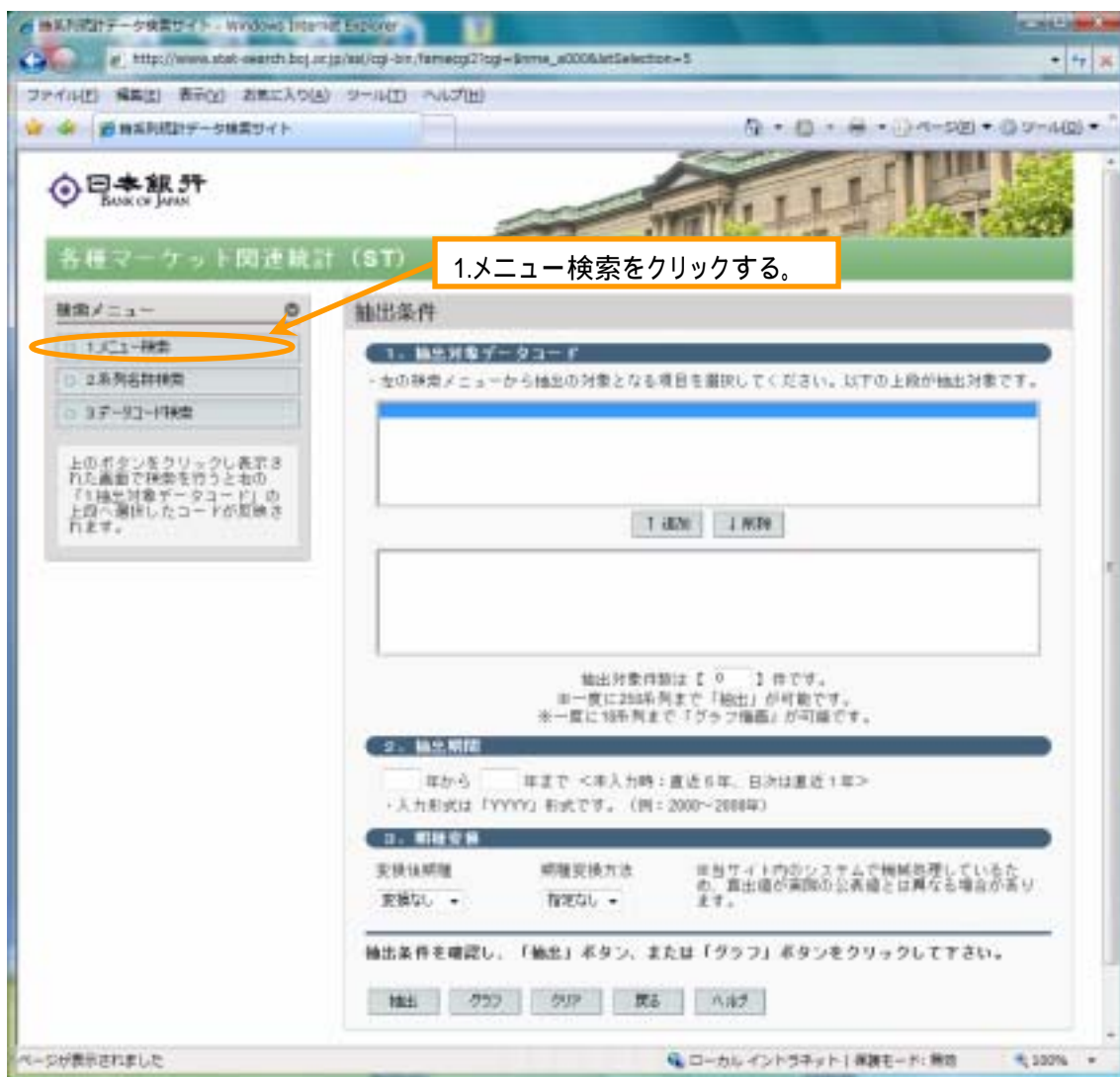
時系列統計データ検索サイトホームページ



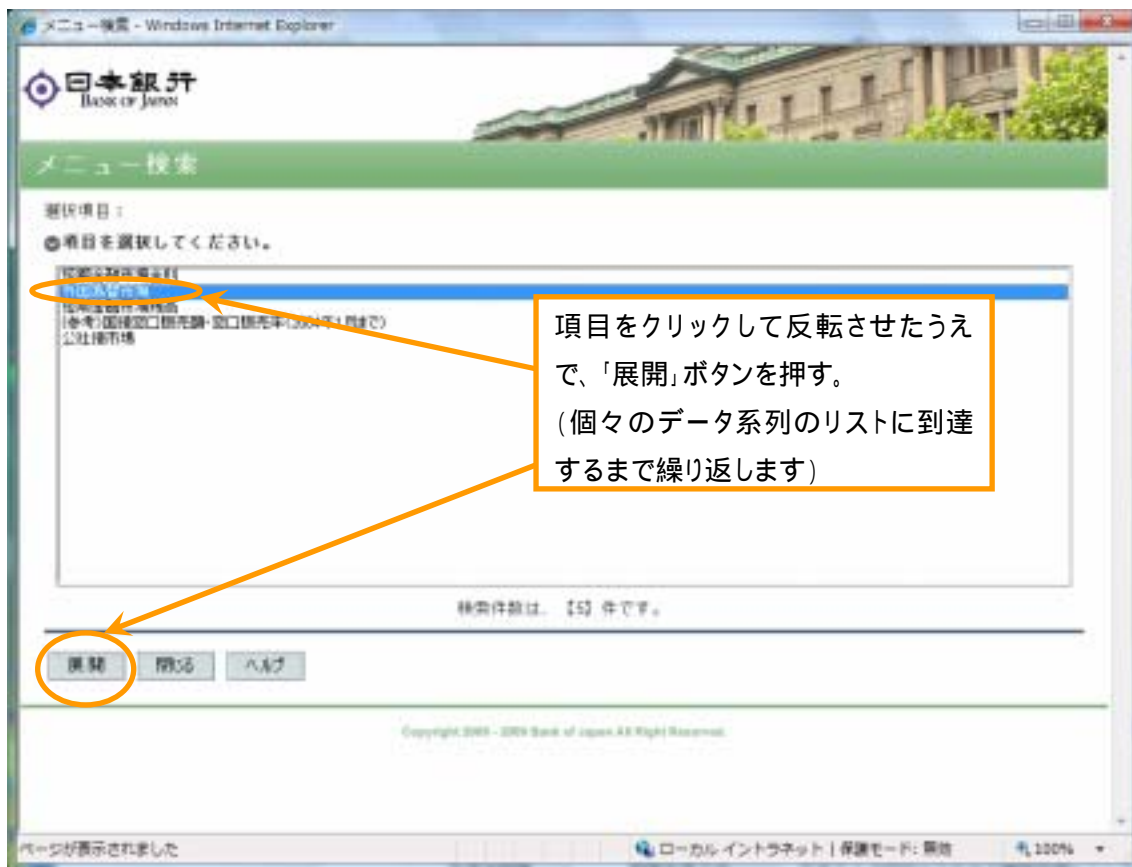
次に「抽出条件」画面が開きます（ ）。「メニュー検索」をするためには、左上方の「検索メニュー」から「1.メニュー検索」をクリックします。すると、新たに別画面で「メニュー検索」画面が開きます。

なお、抽出条件画面（ ）は、「メニュー検索」画面でデータを選んだ後で、ふたたび使用しますので、画面を閉じないでください。

抽出条件画面（ ）



メニュー検索画面



「メニュー検索」画面のなかの「項目を選択してください。」の下のボックスに、リストが表示されています。ここで、さらに探している統計の項目をクリックして選び、画面下方の「展開」ボタンを押します。さきほど、「各種マーケット関連統計」を選択している場合には、リストに「短期市場金利」「外国為替市場」「短期金融市場残高」等々と並んでいますので、「外国為替市場」をクリックして、さらに「展開」ボタンを押します。

「メニュー検索」画面内のリストが変化しました。さらに、選択肢がある場合には、先ほどと同様に目的の統計の項目をクリックして選び、画面下方の「展開」ボタンを押します。先ほど「外国為替市場」を選択して、「展開」した場合には、「外国為替相場状況（日次）」「外国為替相場状況（月次）」「実効為替レート（名目・実質）」と並んでいます。「実質実効為替レート」を探す場合には、このなかで「実効為替レート（名目・実質）」をクリックして選択し、「展開」ボタンを押してください。

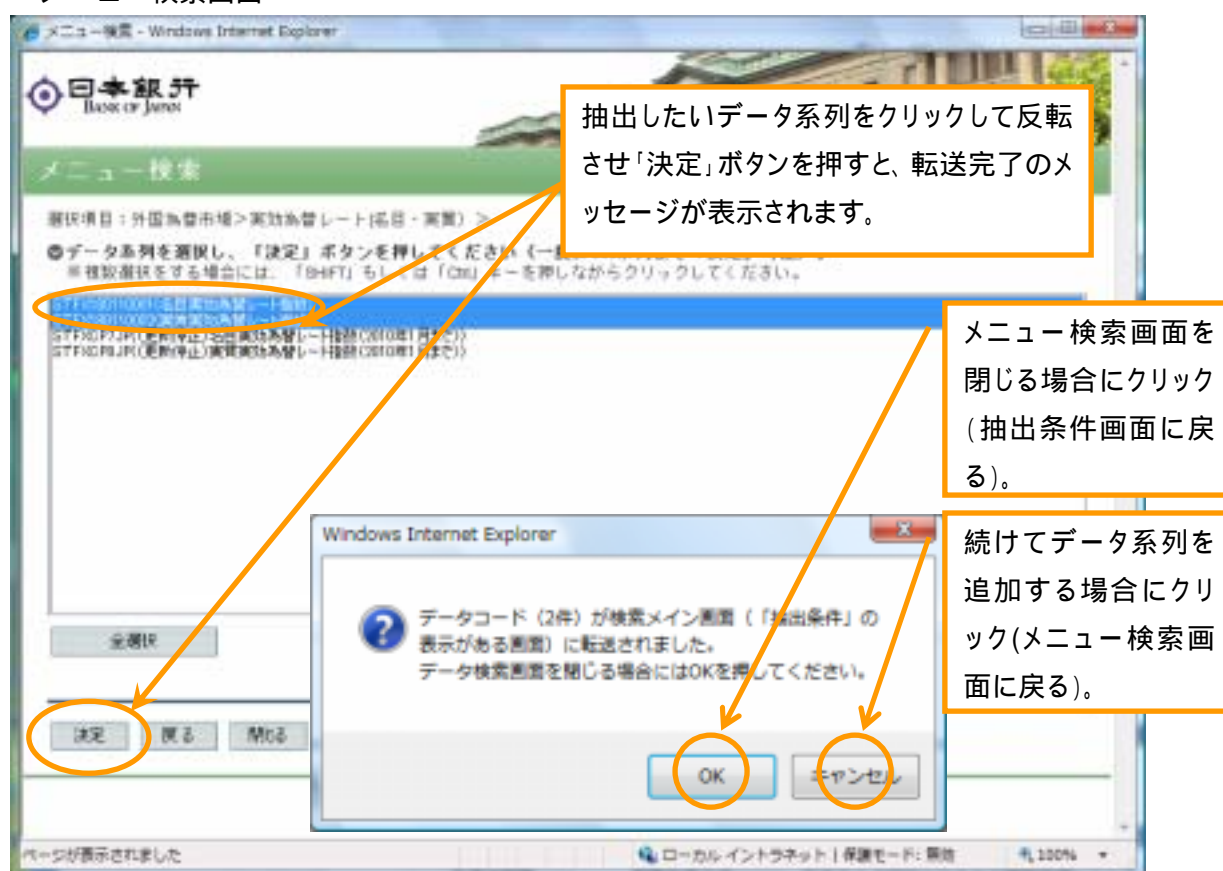
こうしてリストを絞り込んで行くと、最後にデータ系列のリストに到達します。「メニュー検索」画面で、「データ系列を選択し、『決定』ボタンを押してください（一度に 300 系列まで『決定』可能）」と表示される画面です。ここで、リスト上のデータ系列をクリックし、「決定」ボタンを押します。「実効為替レート」の名目、実質とも検索したい場合には、両方を選択して、「決定」ボタンを押します。

「決定」ボタンを押すことにより、選択したデータ系列の情報が、別にかかれている抽出条件画面（ ）へ転送されます。これ以上データ系列を選択する必要がない場合には、「メニュー検索」画面を閉じてください（抽出条件画面（ ）は閉じないでください）。

1 「決定」ボタンを押して、選択したデータ系列の情報を抽出条件画面（ ）へ転送する際に、抽出条件画面（ ）が閉じられてしまっているとエラーになりますので、ご注意ください。この場合には、もう一度、時系列統計データ検索サイトホームページへ戻って操作を行ってください。

2 なお、データ系列が選択された状態で、「決定」ボタンを複数回押した場合には、押した数だけ同じデータ系列の情報が抽出条件画面（ ）へ転送されます。

メニュー検索画面



先ほどの抽出条件画面（ ）に戻ります。「1.抽出対象データコード」の欄に、先ほど「メニュー検索」画面で選んだデータ系列が入っています。この状態で、画面の下の方の「抽出」ボタンを押します。

なお、データが抽出される期間は、なにも指定しない場合には過去5年間（日次データは過去1年間）となります。これより昔から抽出したい場合や期間を短縮したい場合には、「2.抽出期間」の左方のボックスへ抽出を開始する年を入れてください。

抽出条件画面（ ）

先にメニュー検索画面で選んだデータ系列が、表示されています。

抽出期間を指定する場合に入力します。なにも指定しない場合は、直近5年分（日次データは直近1年分）となります。

「抽出」ボタンを押して、データの抽出を開始します。

期種を指定する場合に選択します。「変換なし」「指定なし」のままにした場合は、データベースに入っている期種で出力されます。

データベースからの抽出処理が終わると、「抽出結果」画面が表示されます。検索されたデータをダウンロードしたい場合には、右方の「ダウンロード」ボタンを押してください。ダウンロードをせずに、データを見たいという場合には、画面左方の「時系列データ表示」のリンクをクリックして、データ表を表示させてください。「抽出コードの保存」ボタンでは、今回選んだデータ系列のリストをパソコンにダウンロードすることができます。

抽出結果画面

「時系列データ表示」をクリックすると、数値を見ることができます。

「ダウンロード」ボタンを押すと、抽出したデータをダウンロードすることができます。

抽出コードの保存

今回選んだデータ系列のリストを端末に保存することができます。
毎回決まったデータを利用する場合には、保存したリストを利用して、次回以降の検索の手間を若干省くことも可能です(操作方法は13ページへ)。

データ系列の名前でさがす(データ系列の名前がある程度わかっている場合には)。

検索サイトでは、データ系列の名称をキーワードとして目的のデータを探し出すことも可能です。たとえば、「実効為替」レートの名前で探してみます。

検索サイトトップページ中ほどの「全時系列統計データの検索」のコーナーから、検索サイト全体を対象にデータを探すことができます。このうち、データ系列の名称の一部をキーワードとしてデータを探す場合には、「統計種別・カテゴリ、データ系列名称による検索」のリンクをクリックします。

なお、検索サイト全体からではなく、同じ統計の種類の中において、データ系列の名前をキーワードに検索することも可能です。この場合には、「統計別検索」のコーナーから、目的の統計をクリックし、検索メニューの「2.系列名称検索」を使って、データを検索します。

時系列統計データ検索サイトホームページ

日本銀行
Bank of Japan

時系列統計データ検索サイト

本サイトは、日本銀行が公表している統計の時系列統計データ約16万系列を格納しており、全ての格納データの検索・ダウンロードが可能な検索機能を提供しています。

①検索・グラフ機能の使い方

主要な統計種別

金利 為替 通貨量 物価 国際収支 短債

主要時系列統計データ表

①日次 ②週次(月曜発表) ③月次 ④半期 ⑤年度 (掲載データ一覧)

※主要時系列統計データは、原則毎営業日(日:0時頃、12時頃、15時頃)に更新されます。お急ぎの方は、統計別検索をご利用ください。

時系列統計データ検索・グラフ

①統計別検索

②検索サイト格納統計一覧・検索リスト閲覧一覧 ③うち短債 ④うち物価 ⑤うち通貨量

日本銀行関連(国) [注]
通貨量(MA) [注]
民間金融機関の貸付・負債(注) [注]
預金・貸付関連統計(国) [注] 金利(注記別)
各種クレジット関連統計(注) [注] 金利(注記別)
返済関連(注) [注]

短債(CO) 短債データビュー
物価関連(PPI)
物価関連統計(PPI) [注]
国際収支・貿易関連(注) [注]
資金循環(注)
その他(CD)

本サイトは統計のページ(日本銀行ホームページ)にリンクしています。
※格納統計一覧・検索リスト閲覧一覧は、各統計が格納されているメニュー・リスト閲覧の
を渡って統計を探すための参考情報。

②全時系列統計データの検索

統計種別・カテゴリ、データ系列名称による検索 データコードの直輸入

「統計種別・カテゴリ、データ系列名称による検索」をクリック。

抽出条件画面（ ）が開かれるとともに、同時に「統計種別・カテゴリ、データ系列名称等による全時系列データ検索」の画面が開かれます。この「統計種別・カテゴリ、データ系列名称等による全時系列データ検索」の画面において「条件 1.系列名称指定」の欄の「キーワードを入力して下さい。」の下欄にデータ系列の名称の一部を入力したうえで、真中あたりの「検索」ボタンをクリックします。

統計種別・カテゴリ、データ系列名称等による全時系列データ検索画面

抽出条件画面（ ）が開かれるとともに、同時に「統計種別・カテゴリ、データ系列名称等による全時系列データ検索」の画面が開かれます。この「統計種別・カテゴリ、データ系列名称等による全時系列データ検索」の画面において「条件 1.系列名称指定」の欄の「キーワードを入力して下さい。」の下欄にデータ系列の名称の一部を入力したうえで、真中あたりの「検索」ボタンをクリックします。

統計種別・カテゴリ、データ系列名称等による全時系列データ検索画面

「条件 1. 系列名称指定」欄のキーワード入力欄に、データ系列の名称の一部を入力したうえで、「検索」ボタンを押す。

画面下方の【検索結果】の下リストに先に指定したキーワードをデータ系列の名称の中を含むデータ系列が表示されます。データを抽出したい項目をリストから選択して、「決定」ボタンを押します。「決定」ボタンを押すことにより、選択したデータ系列の情報が同時に開かれている抽出条件画面()へ転送されます。これ以上データ系列を選択する必要がない場合には、「統計種別・カテゴリ、データ系列名称等による全時系列データ検索」の画面を閉じてください(抽出条件画面()は閉じないでください)。

次に、もうひとつ別開かれている抽出条件画面()へ戻ってください。抽出条件画面()上での操作は、8~9 ページと同じです。

統計種別・カテゴリ、データ系列名称等による全時系列データ検索画面

The screenshot shows the 'Full-time Series Data Search' page of the Bank of Japan. The page is divided into two main sections: 'Condition 1: Keyword Specification' and 'Condition 2: Statistical Category and Category Specification'. The 'Search Results' section at the bottom lists several data series. Annotations with orange boxes and arrows point to specific elements:

- Annotation 1:** Points to the search results list. Text: 「検索結果」に表示されたリストからデータを抽出したいものを選択し「決定」ボタンを押すと、転送完了のメッセージが表示されます。
- Annotation 2:** Points to the '決定' (Decision) button. Text: 全時系列データ検索画面を閉じる場合にクリック(抽出条件画面に戻る)。
- Annotation 3:** Points to the 'キャンセル' (Cancel) button in a dialog box. Text: 続けてデータ系列を追加する場合にクリック(全時系列データ検索画面に戻る)。

The dialog box in the foreground contains the following text: 「データコード (2件) が検索メイン画面 (「抽出条件」) の表示がある画面) に転送されました。データ検索画面を閉じる場合にはOKを押してください」 (Data codes (2 items) have been transferred to the search main screen (the screen where 'Extraction Conditions' is displayed). If you want to close the data search screen, please press OK).

データ系列のコードでさがす(毎回、同じデータコードのデータを利用したい場合には)。

毎回同じデータ系列を利用している場合など、あらかじめデータコードがわかっている場合には、「データコードの直接入力」の機能が多少便利です。

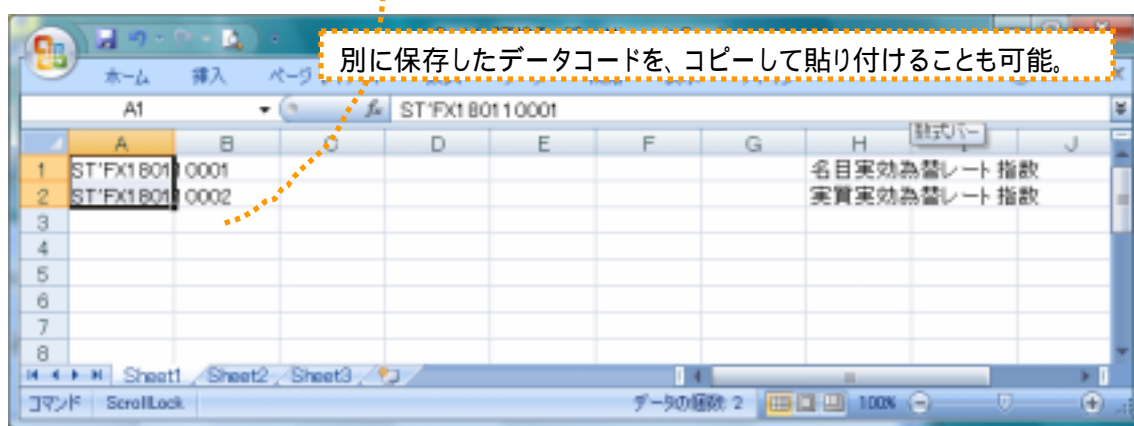
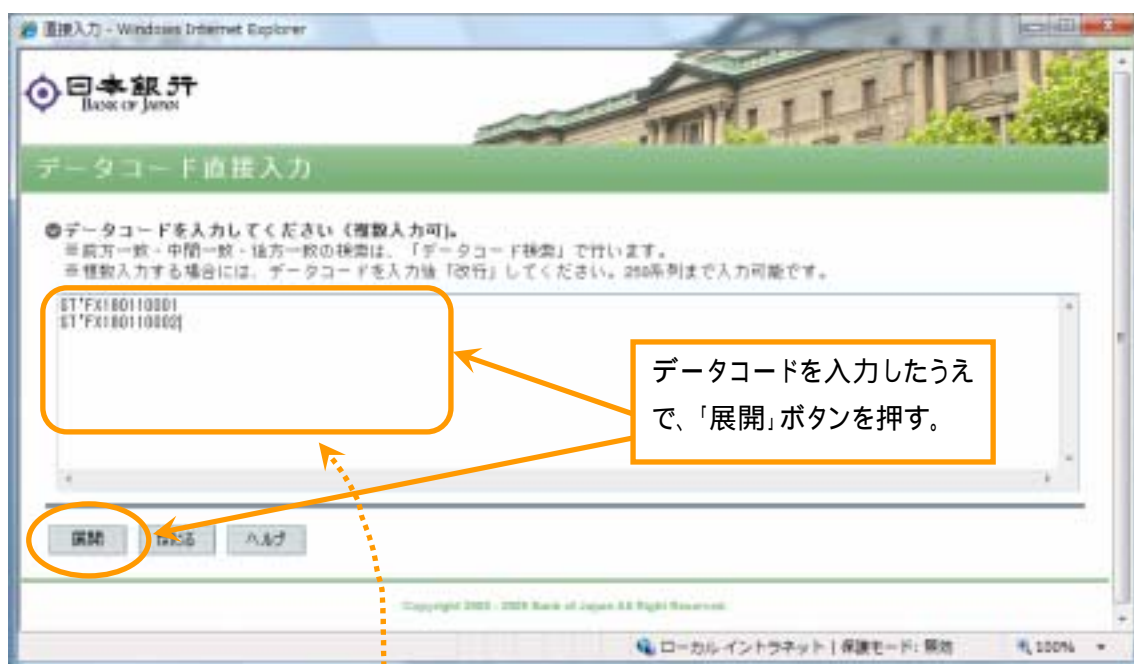
検索サイトトップページ中ほどの「全時系列統計データの検索」のコーナーから、検索サイト全体を対象にデータを探すことができます。このうち、すでに目的とするデータ系列のデータコードがわかっている場合には、「データコードの直接入力」のリンクをクリックします。

時系列統計データ検索サイトホームページ



「抽出条件」と書かれた抽出条件画面（ ）が開かれるとともに、同時に「データコード直接入力」の画面が開かれます。この「データコード直接入力」の画面において、「データコードを入力してください（複数入力可）」の下の欄に目的のデータ系列のデータコードを正しく入力します。複数のデータコードを入力する場合には、改行をしてください。データコードを入力する際には、別に保管したデータコードをコピーし、この欄に貼り付けることでも入力することができます。データコードの入力が終わったら、「展開」ボタンをクリックします。

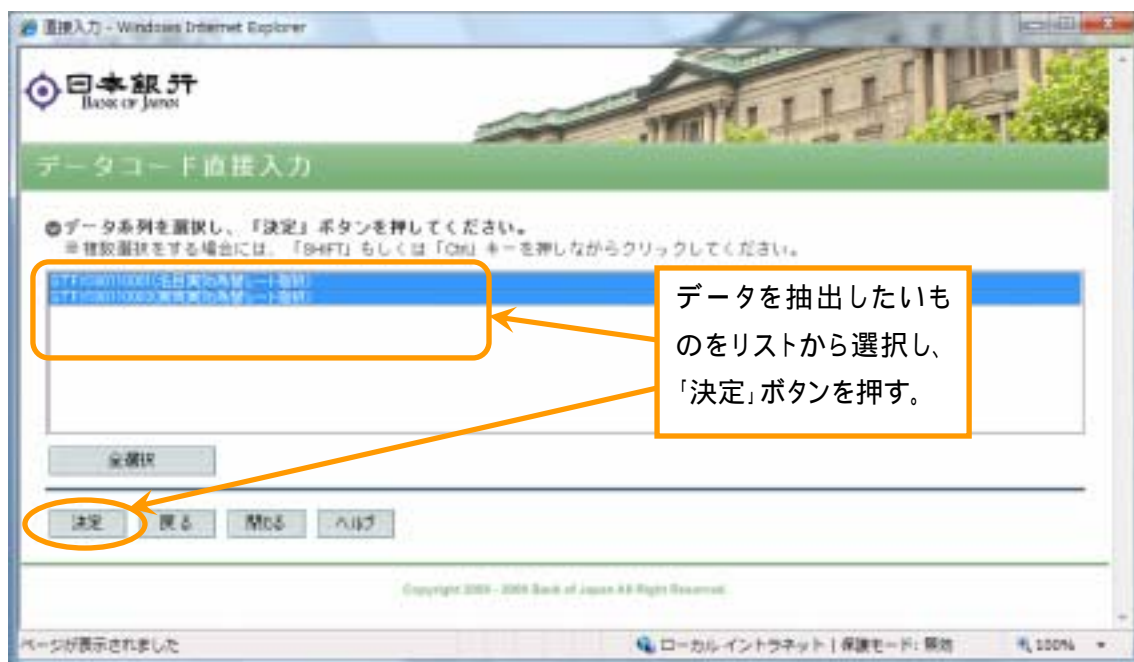
データコード直接入力による全時系列統計データ検索画面



先の画面で指定したデータコードが存在する場合には、「データコード直接入力」画面の「データ系列を選択し、『決定』ボタンを押してください。」の下方のボックス内に、該当するデータ系列のリストが表示されます。データを抽出したい項目をリストから選択して、「決定」ボタンを押します。「決定」ボタンを押すことにより、選択したデータ系列の情報が同時に開かれている抽出条件画面()へ転送されます。これ以上データ系列を選択する必要がない場合には、「データコード直接入力」画面を閉じてください(抽出条件画面()は閉じないでください)。

次に、もうひとつ別開かれている抽出条件画面()へ戻ってください。抽出条件画面()上での操作は、8～9 ページと同じです。

データコード直接入力による全時系列統計データ検索画面



検索機能を使ってちょっと高度な使い方がしたい。

たとえば、短観で、同一業種に対して複数の違う項目のデータ系列をさがすためには(「系列名称検索」を利用したちょっと高度な検索の方法です)

「系列名称検索」は、データの名前内のキーワードをもとに、データ系列を探し出せるようにしたものです(複数のキーワードを組み合わせた検索も可)。短観や資金循環統計のように、データ名称が規則的に付与されている統計については、工夫次第では、複数のキーワードを組み合わせ、自分なりの独自の切り口で、まとめてデータを取得することも可能となります。

たとえば、短観の中小企業、小売業、業況判断D Iのデータ名称は、「DI/業況/中小/_小売/実績」もしくは「DI/業況/中小/_小売/予測」となります。「業況」判断以外のD I項目では、データ名称中の「業況」の部分が異なるだけです。中小企業かつ小売業をキーとして、全D I項目を一度に検索することもできます。具体的な方法は、以下のとおりです。

検索サイトホームページ中ほどの「時系列統計データ検索・グラフ」「統計別検索」のコーナーから、「短観(CO)」をクリックすると、「抽出条件」と表示された抽出条件画面が開きます。さらに、左上方の「検索メニュー」から「2.系列名称検索」をクリックすると、新たに別画面で「系列名称検索」画面が開きます。

ここで、「系列名称検索」画面上の「キーワードを入力して下さい」の欄に「DI」「中小」「_小売」を入力し、「検索」ボタンを押します。なお、キーワードを複数入力する場合には、キーワードの間にスペースを入力してください。

系列名称検索画面

キーワードを入力して下さい。
DI/中小/_小売

検索

キーワードはスペース区切りで複数入力できます。部分一致検索が可能です。

データ系列を選択し、『決定』ボタンを押してください。一度に300系列まで「決定」ボタンを押す場合は、「m-eft」もしくは「com」キーを押しながらクリックしてください。

決定

検索条件は「DI/中小/_小売」件です。1000件まで表示可能です。

戻る クリア 閉じる ヘルプ

Copyright ©2014 - 2015 Bank of Japan. All Rights Reserved.

ページが表示されました

ローカルインターネット | 保護モード | 閉鎖

100%

「系列名称検索」画面の下のリストボックスに、条件に合致するデータ系列が表示されます。事例では、「業況」のほか、「国内需給」「製商品在庫」「生産設備」「雇用人員」「資金繰り」「貸出態度」「借入金利水準」「販売価格」「仕入価格」「CP 発行環境」の中小企業、小売業のデータが表示されます。

系列名称検索画面

あとは、「全選択」ボタンを押してリストボックス内の全データ系列を選択した上で、「決定」ボタンを押します。「決定」ボタンを押した後の操作は、8~9ページと同じです。

ここでご紹介したD I項目以外に、年度計画項目（売上高、人件費、経常利益など）ほかでも、同様に、同一業種内、複数項目をまとめて取得することが可能です。たとえば、中小企業、小売業の売上高（半期系列、前年比）のデータ名称は、「売上高/前年比・半期/中小/_小売/実績」等となりますので、キーワードは「前年比・半期」「中小」「小売」となります。

こうした方法は、さらに資金循環統計でも有効です。「統計別検索」の「資金循環（FF）」で同様にお試ください。たとえば、各主体にわたって「金融資産残高合計」をまとめて検索したい場合には、「資産・合計」「ストック」をキーワードとして「系列名称検索」を実行すると、各保有主体の金融資産残高合計のデータ系列をまとめてリストアップすることができます。

物価統計のデータを一度にダウンロードしたい。

一括ダウンロードファイルのダウンロードが可能です。

検索サイトホームページ下方の「物価、資金循環統計、短観データの一括ダウンロード」で、「各データのダウンロード」のリンクをクリックしてください。「物価、資金循環統計、短観データの一括ダウンロード」のページが開きますので、ダウンロードしたい物価統計の一括ダウンロードファイルのリンクをクリックしてください。

物価、資金循環統計、短観データの一括ダウンロードのページ

物価、資金循環統計、短観データの一括ダウンロード

データ系列数が多量にのびる統計（物価、資金循環統計、短観）について、一括ダウンロードを可能にしています。

ファイル名のリンクをマウスで右クリックして「対象をファイルに保存」を選択し、適宜の場所に保存してご利用ください。なお、ファイルサイズが大きなデータは「ZIP形式」で圧縮しています。保存後、解凍のうえご利用ください。

ファイルの形式についてはファイル形式等仕様をご覧ください（物価統計データ検索機能のダウンロードファイル形式とは必ずしも一致しません）。

ファイルは遅くとも統計公表日の午前10時頃までに掲載します（時系列統計データ検索機能の掲載です）。

物価統計

統計名等	ファイル名	最終更新日付	ファイル形式等
企業物価指数 (CPI)	cpi.csv (1.45MB)	2009年10月14日	ファイル形式仕様 データ一覧
連鎖方式による国内企業物価指数	cpiw.csv (8.4MB)	2009年10月14日	
企業向けサービス価格指数 (CSP)	csp.csv (0.2MB)	2009年10月20日	—
製造業部門別輸入・輸出物価指数 (DOP)	dop.csv (2.9MB)	2009年10月16日	
企業物価指数 (CPI) (系列名称等あり) ※	cpi2.csv (1.5MB)	2009年10月14日	
連鎖方式による国内企業物価指数 (系列名称等あり) ※	cpiw2.csv (8.4MB)	2009年10月14日	
企業向けサービス価格指数 (CSP) (系列名称等あり) (2.1倍)	csp2.csv (0.3MB)	2009年10月20日	
企業向けサービス価格指数 (CSP) 製造指数 (系列名称等あり) (2.1倍)	cspm.csv (0.3MB)	2009年10月20日	—
製造業部門別輸入・輸出物価指数 (DOP) (系列名称等あり) ※	dop2.csv (3.1MB)	2009年10月16日	

※更新日付が2009年2月12日以降のファイルより、系列名称に対応するウエイトをD列に追加したファイルを掲載します。従来のファイルのD列以降の列が、1列ずつ後ろにずれますので、ご利用の際にはご注意ください。

(注1) 企業向けサービス価格指数は2005年基準に移行しました。

(注2) 2005年基準企業向けサービス価格指数の継続指数（1995年1月～2004年12月分）。

資金循環統計

統計名等	ファイル名	最終更新日付	ファイル形式等
------	-------	--------	---------

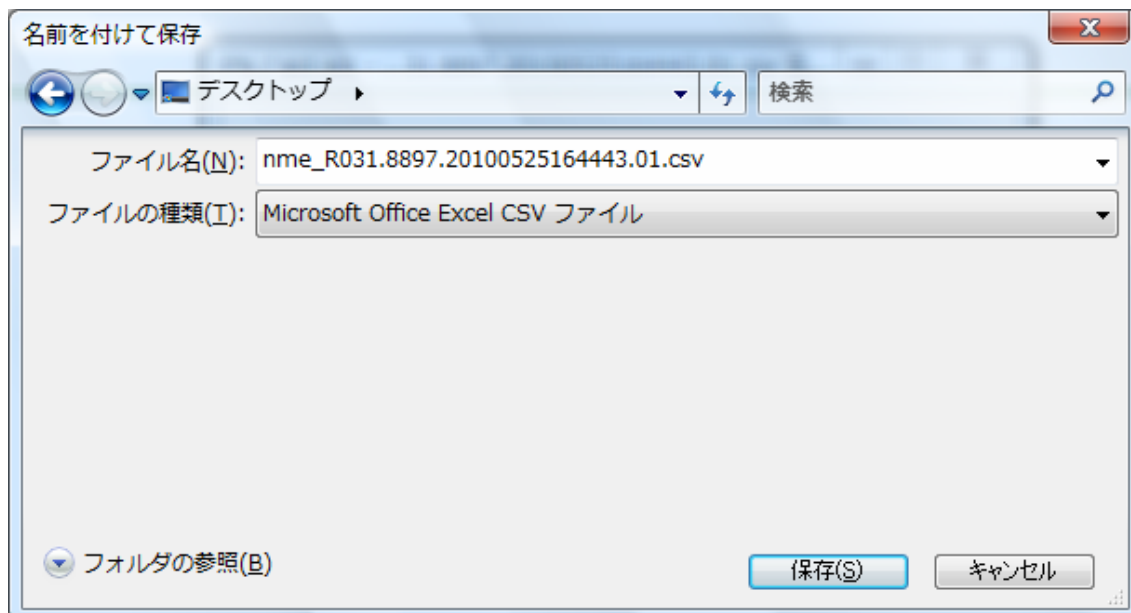
ローカルイントラネット | 保護モード: 無効 | 500%

「ファイルのダウンロード」の画面が開きますので、「保存」を押し、ファイルの保存先を指定してダウンロードをしてください。

ファイルのダウンロードの画面



ファイルの保存先の指定の画面



ここでご紹介した物価統計以外に、資金循環統計ほかでも一括ダウンロードファイルのダウンロードが可能となっています。

グラフ作成編

日本銀行の統計データをグラフで見たい、統計データを使って簡単なグラフを描いてみたい。

主要指標グラフを見る。

検索サイトホームページ上方の「主要指標グラフ」のコーナーから、「金利」、「為替」、「通貨量」等のアイコンをクリックすると最新データで作成したグラフが表示されます。

たとえば、国際収支のグラフが見たい場合、【国際収支】のアイコンをクリックします。

時系列統計データ検索サイトホームページ



「国際収支」のグラフが表示されます。

グラフ画面



このグラフを描きかえたい場合は、P.29の「グラフを描きかえる」参照。

このグラフを印刷したい場合は、P.44の「グラフを印刷する」参照。

このグラフのデータを確認したい場合は、P.47の「グラフの情報やデータを確認する」参照。

検索したデータ系列を使ってグラフを描く。

検索サイトに格納された全てのデータ系列を使って、グラフを描くことができます。グラフを描くには、データ系列を選択しすぐにグラフを表示させる方法と、データ内容を確認してからグラフを表示させる方法があります。

以下では、メニュー検索からデータ系列を選択する方法で解説します。その他の検索方法については、P.4「データ系列を探すためにはどうしたらよいか」を参照して下さい。

(1) データ系列を選択しすぐにグラフを表示

検索サイトホームページ中ほどの「時系列統計データ検索・グラフ」「統計別検索」のコーナーで、グラフを描きたいデータ系列を選択します。

時系列統計データ検索サイトホームページ



ここからグラフを描きたい統計を選びます。

たとえば、国際収支・貿易関連 (BOP) のグラフを描く場合は、ここからデータ系列を検索します。

「抽出条件」画面が表示されるので、グラフを描きたいデータ系列の条件設定を行います。
条件設定を行った後、「グラフ」ボタンをクリックします。

抽出条件画面

1) グラフを描きたいデータ系列が表示されていることを確認。

2) 期間を入力。

3) 期種を選択

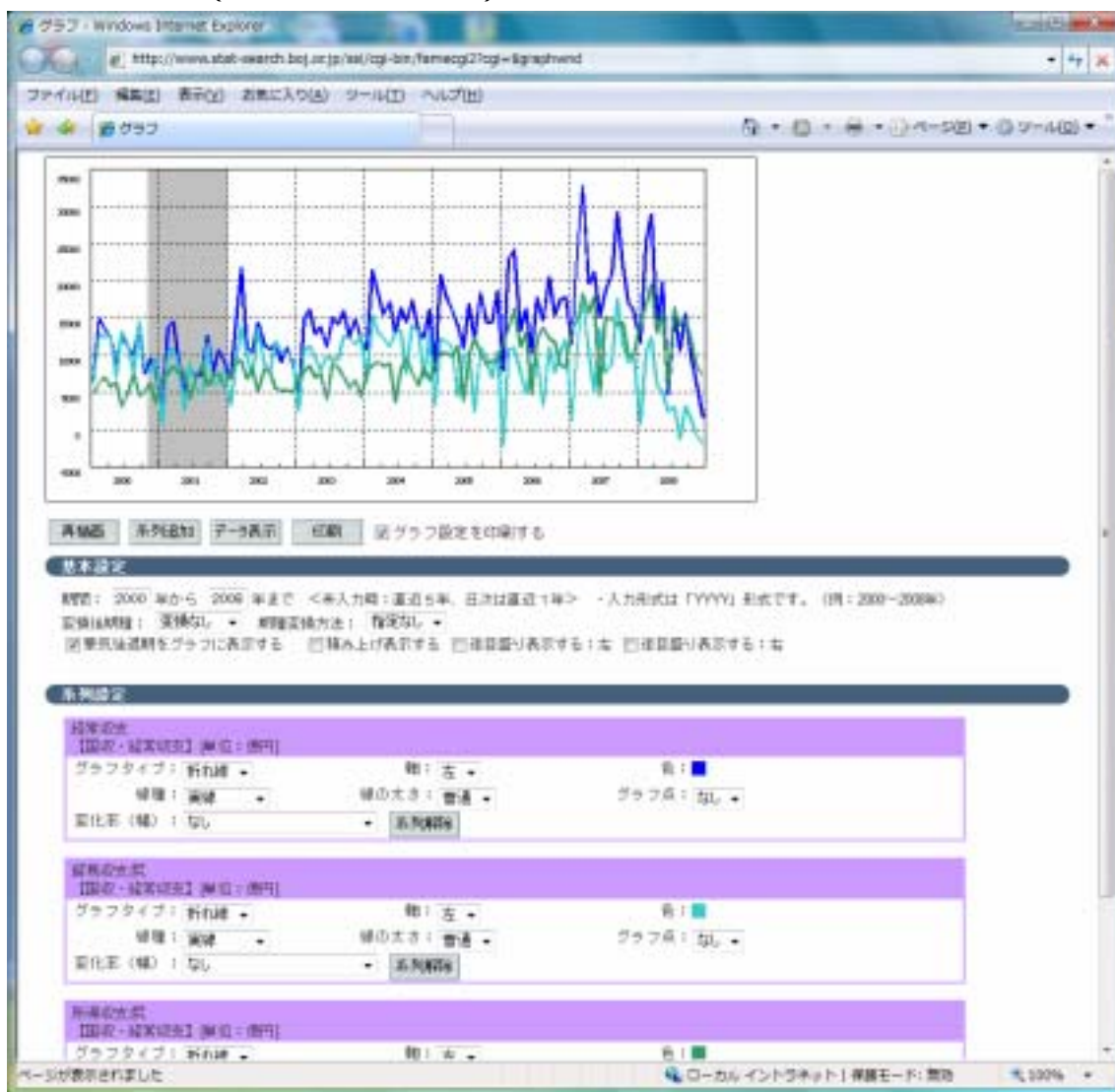
4) 「グラフ」ボタンをクリック。

変換後期種で「変換なし」を選択した場合は、データベースに格納されているそのままの期種でグラフを表示します。なお、複数の期種が混在する場合は、変換後期種を選択して期種をそろえる必要があります。

選択したデータ系列のグラフが表示されます。

グラフは全て初期設定で表示されます。

グラフ画面（3本の折れ線グラフ）



グラフを描きかえる場合は、P.29の「グラフを描きかえる」参照。

(2) 選択したデータ系列の内容を確認してからグラフを表示

グラフを描くデータ系列の抽出を行います。抽出の方法は(1)データ系列を選択しすぐにグラフを表示と同様です。

「抽出条件」画面が表示されるので、グラフを描きたいデータ系列の条件設定を行います。条件設定を行った後、「抽出」ボタンをクリックします。

抽出条件画面

1) グラフを描きたいデータ系列が表示されていることを確認。

2) 期間を入力。

3) 期種を選択

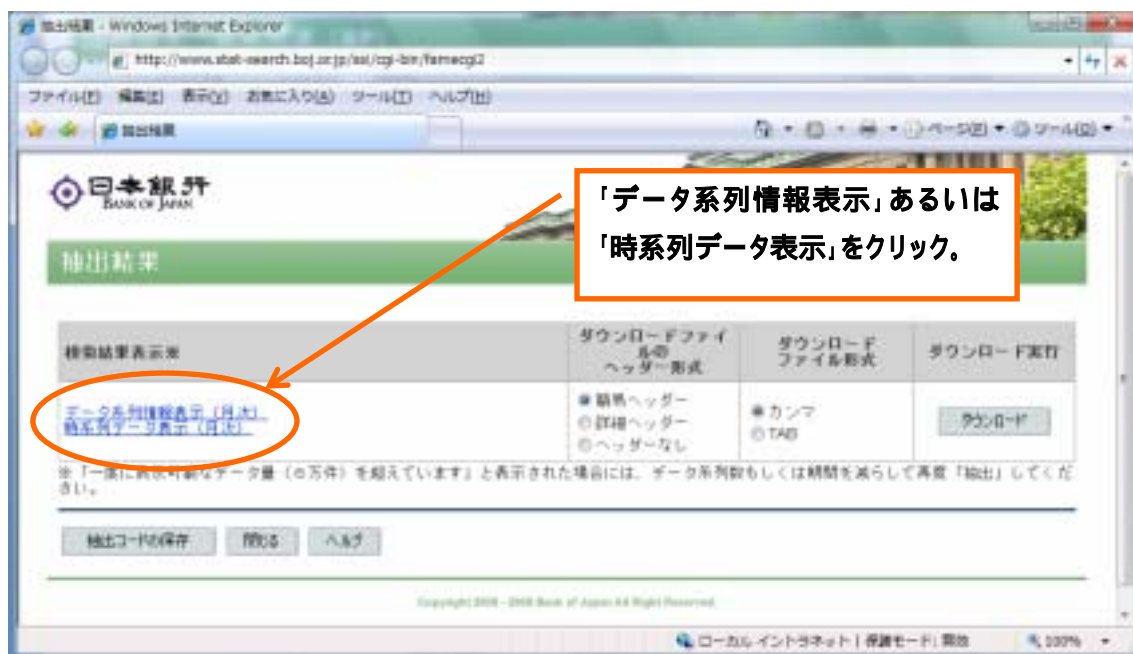
4) 「抽出」ボタンをクリック。

変換後期種で「変換なし」を選択した場合は、データベースに格納されているそのままの期種でグラフを表示します。なお、複数の期種が混在する場合は、変換後期種を選択して期種をそろえる必要があります。

「抽出結果」画面が表示されるので、

- ・ データ系列の情報を確認してからグラフを描く場合は「データ系列情報表示」のリンク
- ・ データ（値）を確認してからグラフを描く場合には「時系列データ表示」のリンクをクリックします。

抽出結果画面



データ系列情報表示画面

データ系列の情報を確認し「グラフ」ボタンをクリックすると、データコードの横にチェックが入ったデータ系列のグラフが表示されます。
不要なデータ系列は、チェックを外してから「グラフ」ボタンをクリックします。

時系列データ表示画面

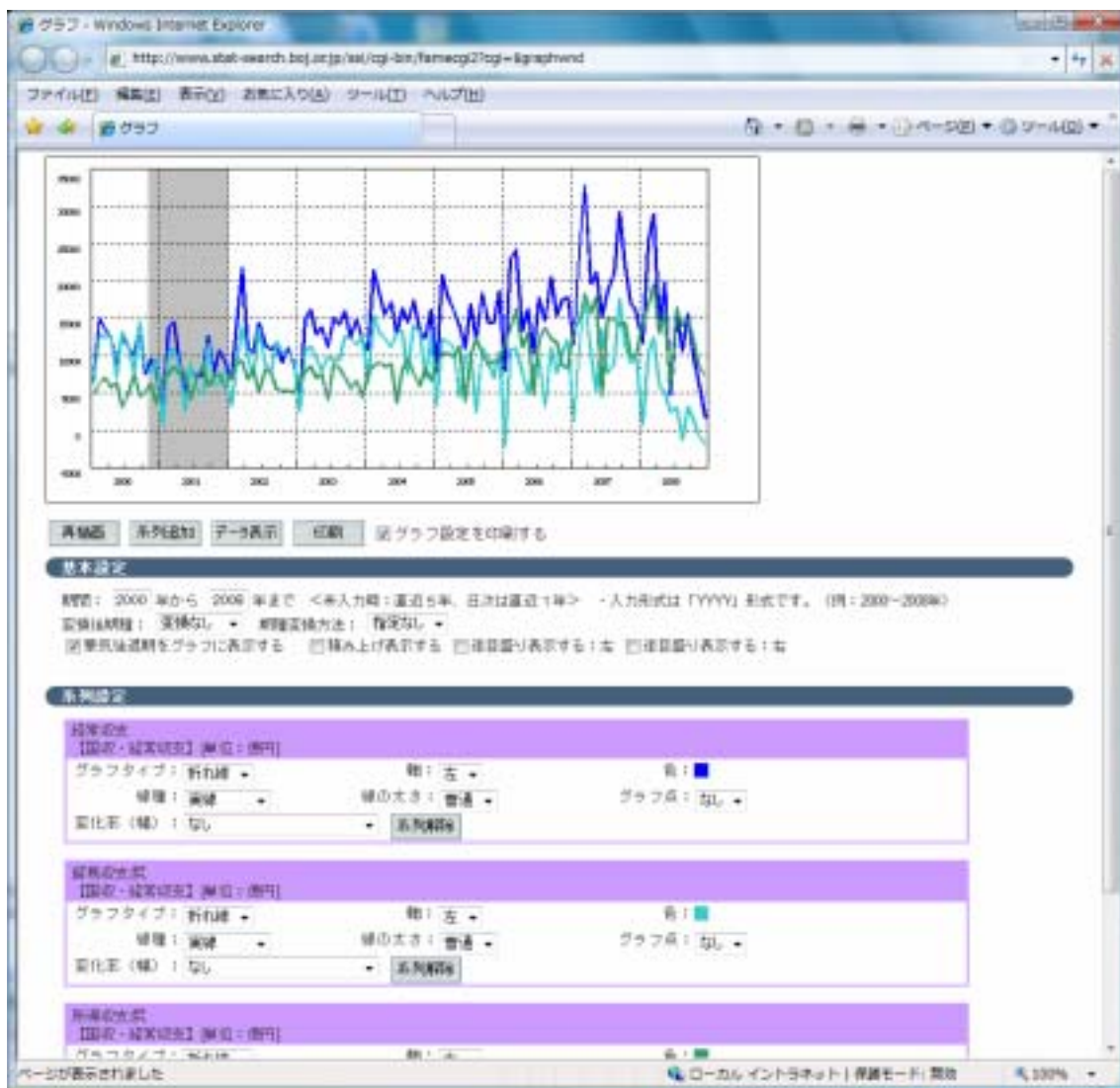
データ(値)を確認し「グラフ」ボタンをクリックすると、データコードの横にチェックが入ったデータ系列のグラフが表示されます。
不要なデータ系列は、チェックを外してから「グラフ」ボタンをクリックします。

「データ系列情報表示」ボタンと「時系列データ表示」ボタンをクリックして、両画面を切り替えることができます。

選択したデータ系列のグラフが表示されます。

グラフは全て初期設定で表示されます。

グラフ画面（3本の折れ線グラフ）



グラフを描きかえる。

主要指標グラフや検索データを使って描いたグラフを描きかえることができます。

(1) グラフの種類を変える

グラフ画面の【基本設定】や【系列設定】の内容を変更することで、グラフの種類を変えることができます。

たとえば、下の「3本の折れ線グラフ」を「1本の折れ線と2本の棒グラフ」に変更してみます。

グラフ画面（3本の折れ線グラフ）



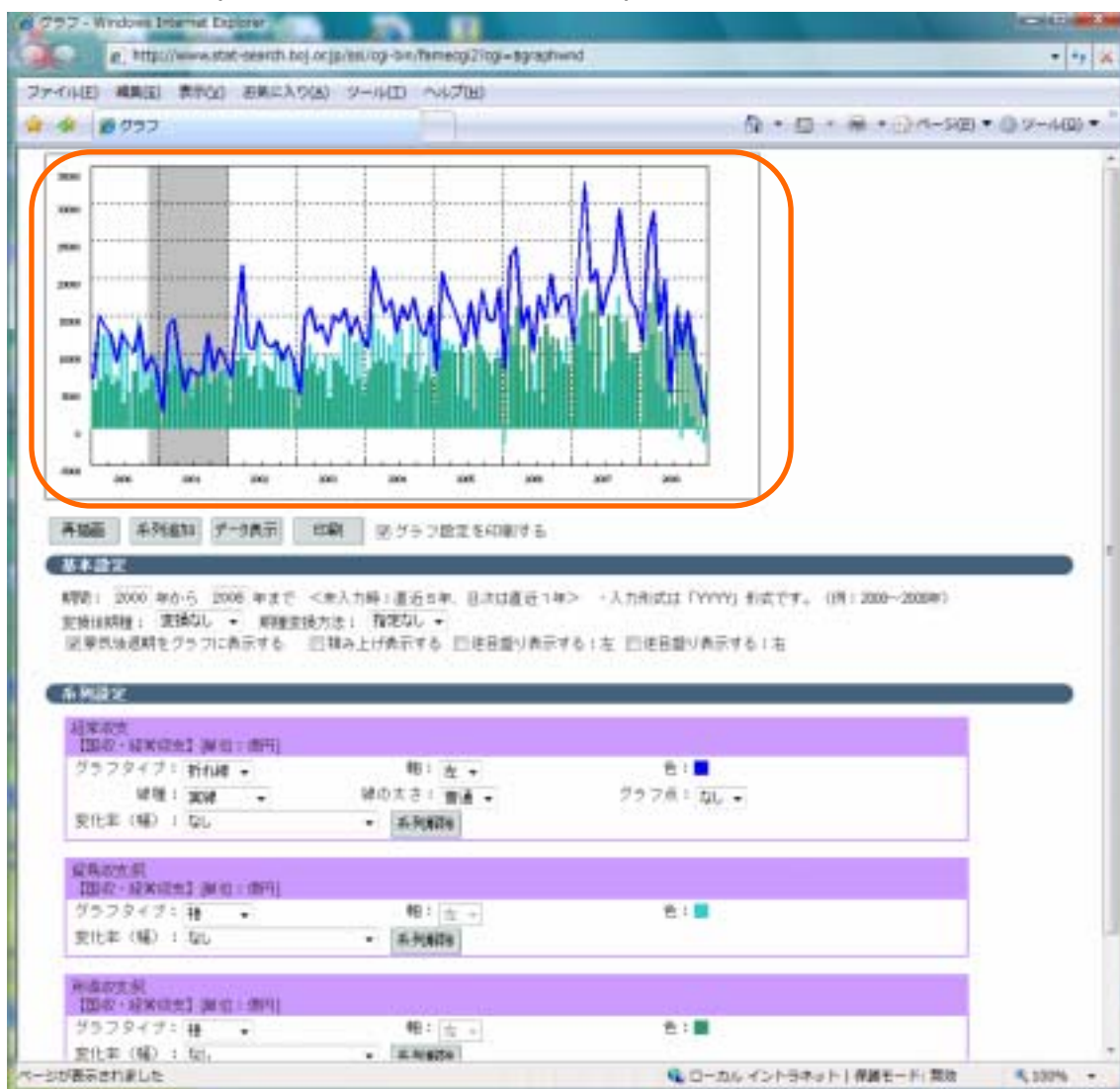
【系列設定】の2番目の系列『貿易収支戻』と3番目の系列『所得収支戻』の「グラフタイプ」を、プルダウンでそれぞれ「折れ線」から「棒」に変更します。



変更後、「再描画」ボタンをクリックします。



水色と緑色の折れ線グラフが、いずれも棒グラフに変更されグラフ画面に表示されます。
 グラフ画面（1本の折れ線と2本の棒グラフ）



棒グラフの場合、数値軸は自動的に左側に設定され、系列設定の表示順（上 下）にグラフ画面（左 右）に表示されます。

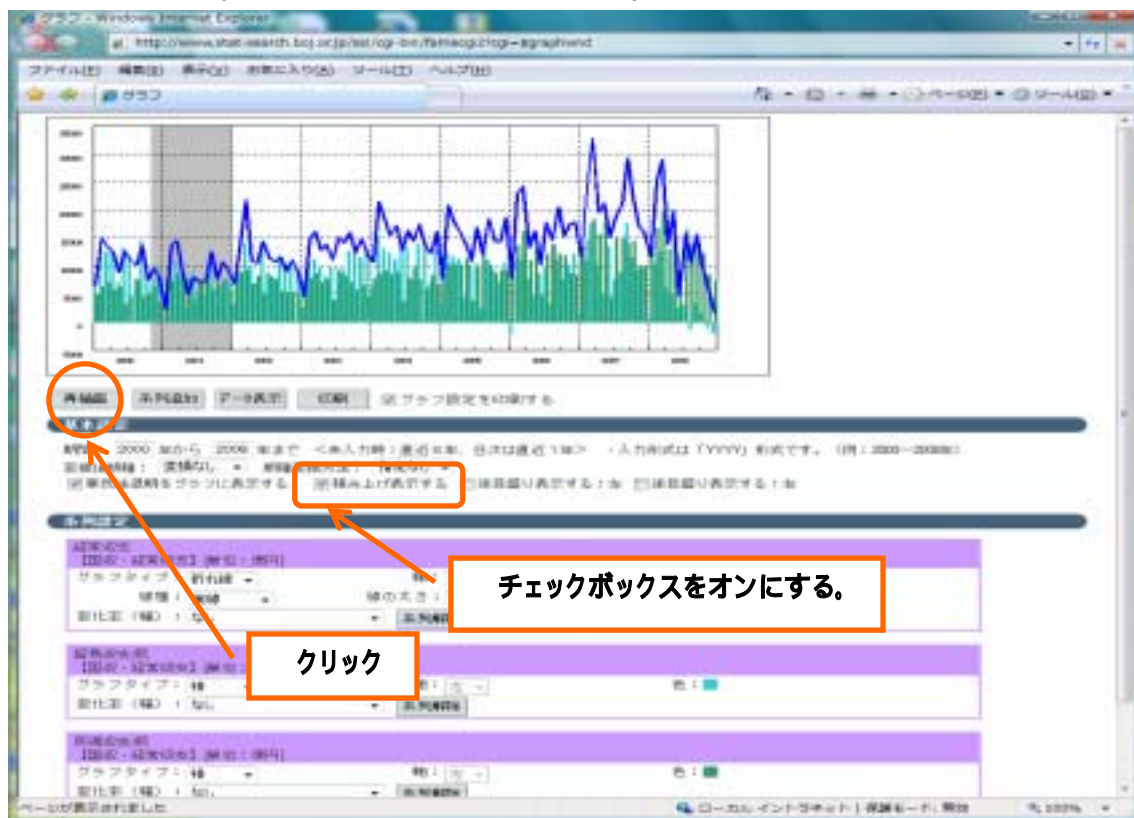
次に、「1本の折れ線と2本の棒グラフ」を「1本の折れ線と1本の積み上げ棒グラフ」に変更してみます。

【基本設定】の中ほどにある「積み上げ表示する」のチェックボックスをオンにします。

積み上げ棒グラフにすると、選択可能な系列数は最大で8系列になります。

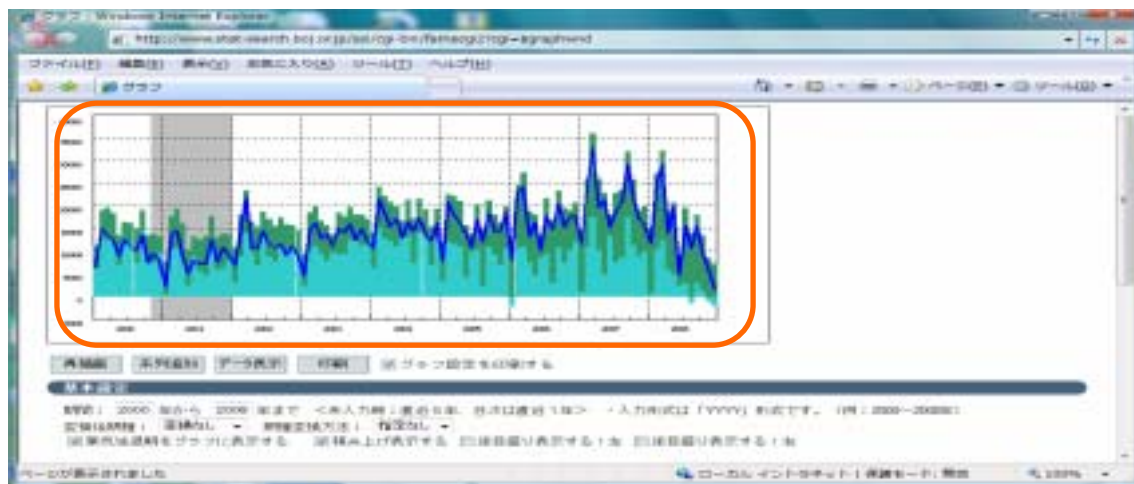
「再描画」ボタンをクリックします。

グラフ画面（1本の折れ線と2本の棒グラフ）



水色と緑色の棒グラフが、【系列設定】に表示された順に積み上げ棒グラフとして表示されます。

グラフ画面（1本の折れ線と1本の積み上げ棒グラフ）



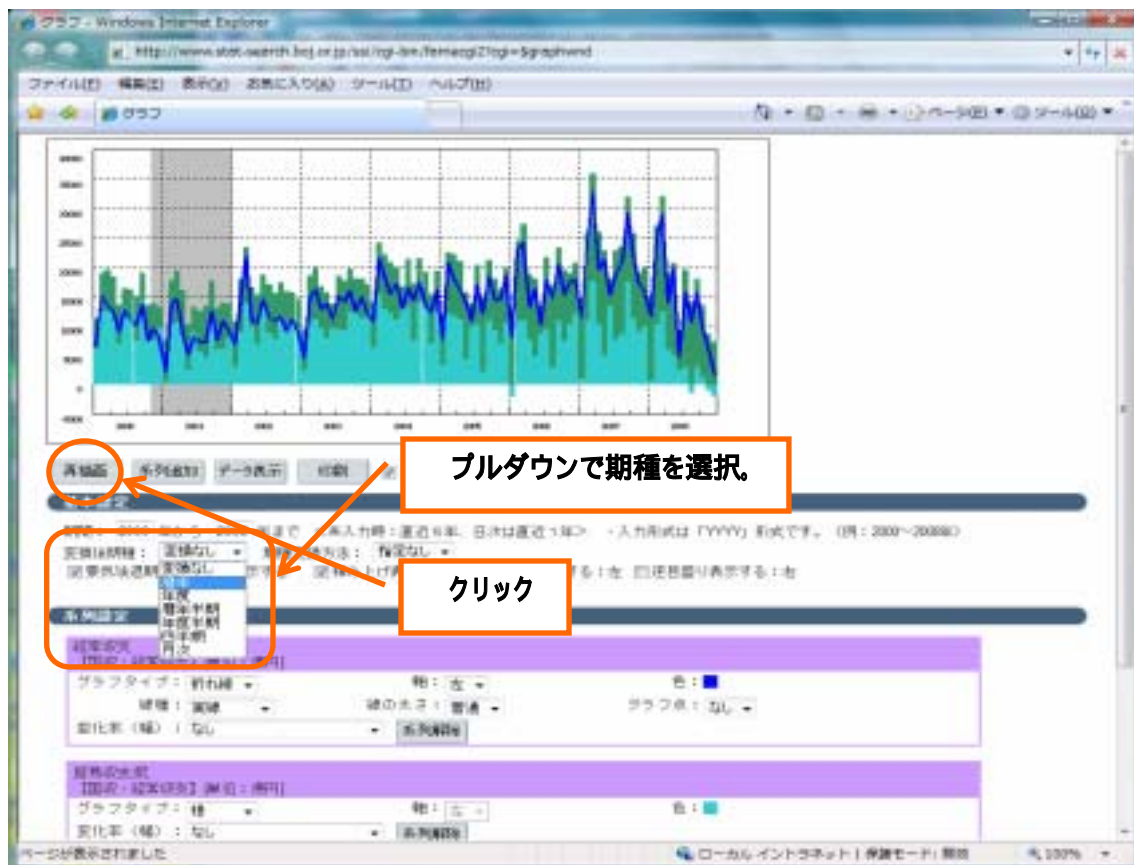
(2) グラフの期種を変える

【基本設定】にある「変換後期種」を変更して、表示したグラフの期種を変えることができます。

「変換後期種」をプルダウンし、変更したい期種を選びます。

期種を選択した後、「再描画」ボタンをクリックします。

グラフ画面（月次データ）



期種が月次から暦年に変更されたグラフが表示されます。

グラフ画面（暦年データに変更）

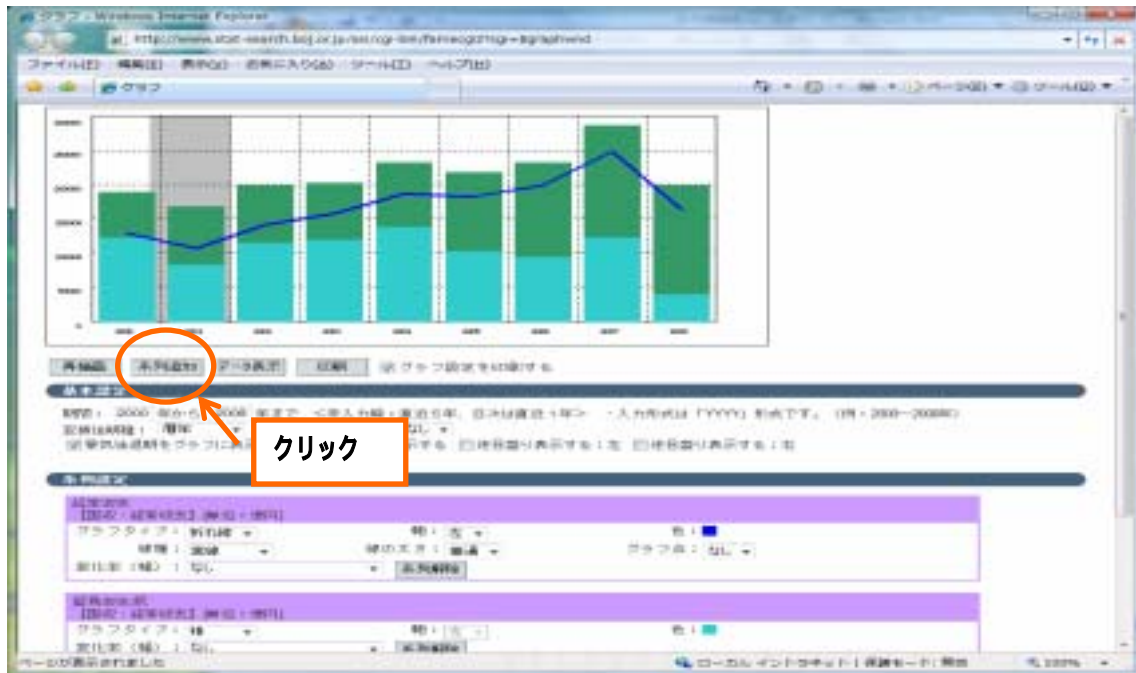


(3) 新たにデータ系列を追加する

表示されているグラフに、新たにデータ系列を追加することができます。データ系列は、検索サイト格納統計から検索、選択してグラフに追加します。

グラフ画面の「系列追加」ボタンをクリックします。

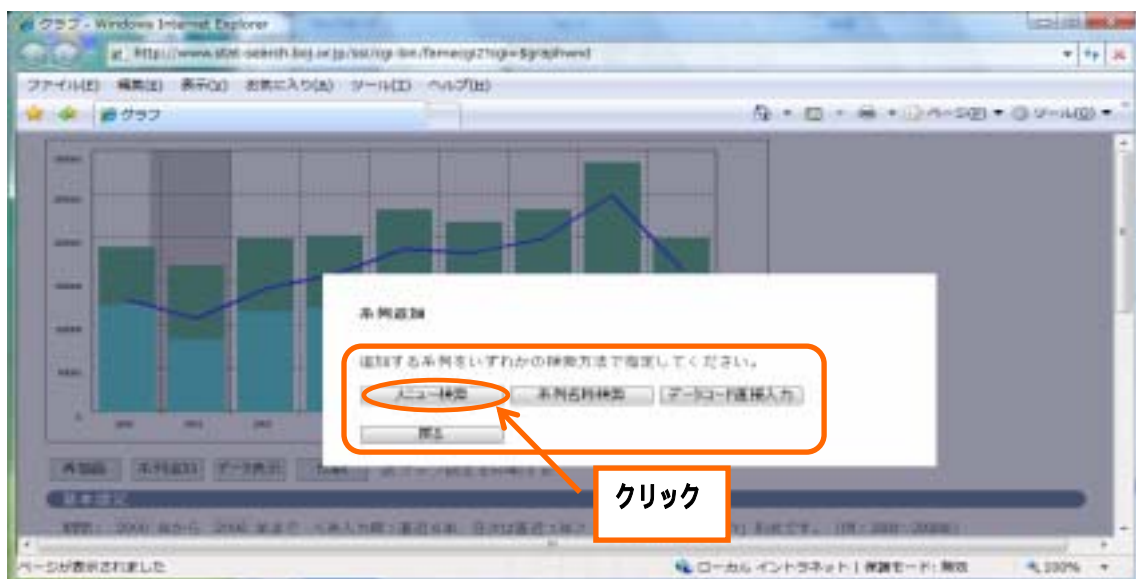
グラフ画面



「系列追加」画面が表示されるので、追加するデータ系列の検索方法を選択して下さい。

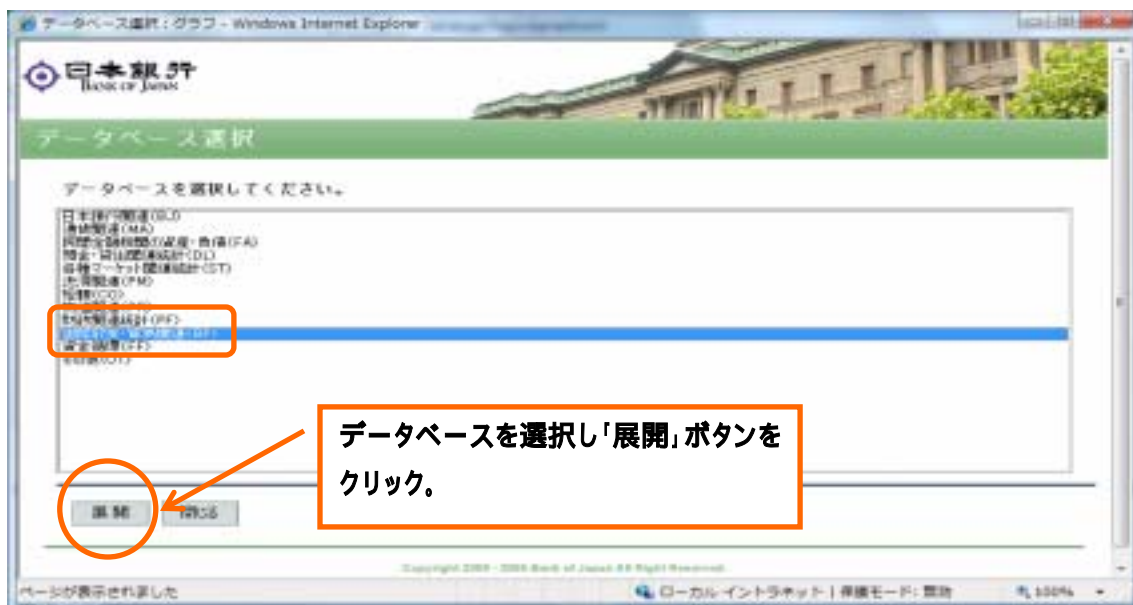
検索方法には、メニュー検索、系列名称検索、データコード直接入力があります。以下では、メニュー検索でデータ系列を検索します。

系列追加画面



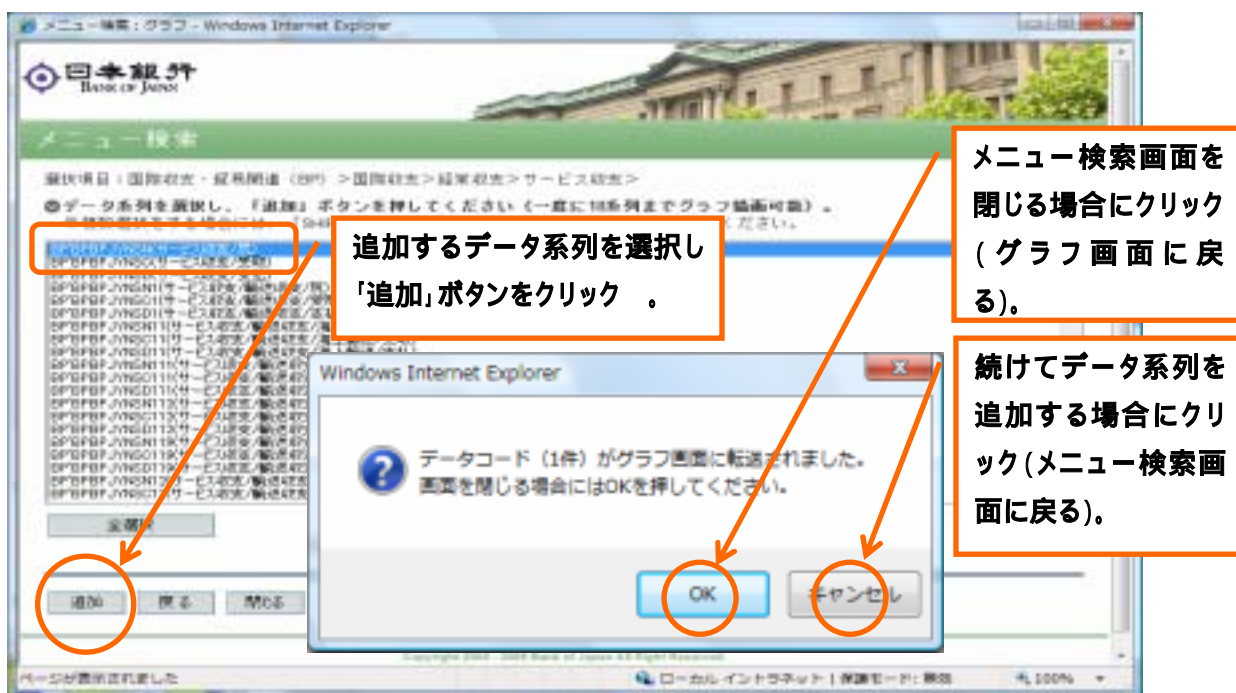
「データベース選択」画面が表示されるので、追加したいデータ系列が格納されているデータベースを選択し、「展開」ボタンをクリックします。

データベース選択画面



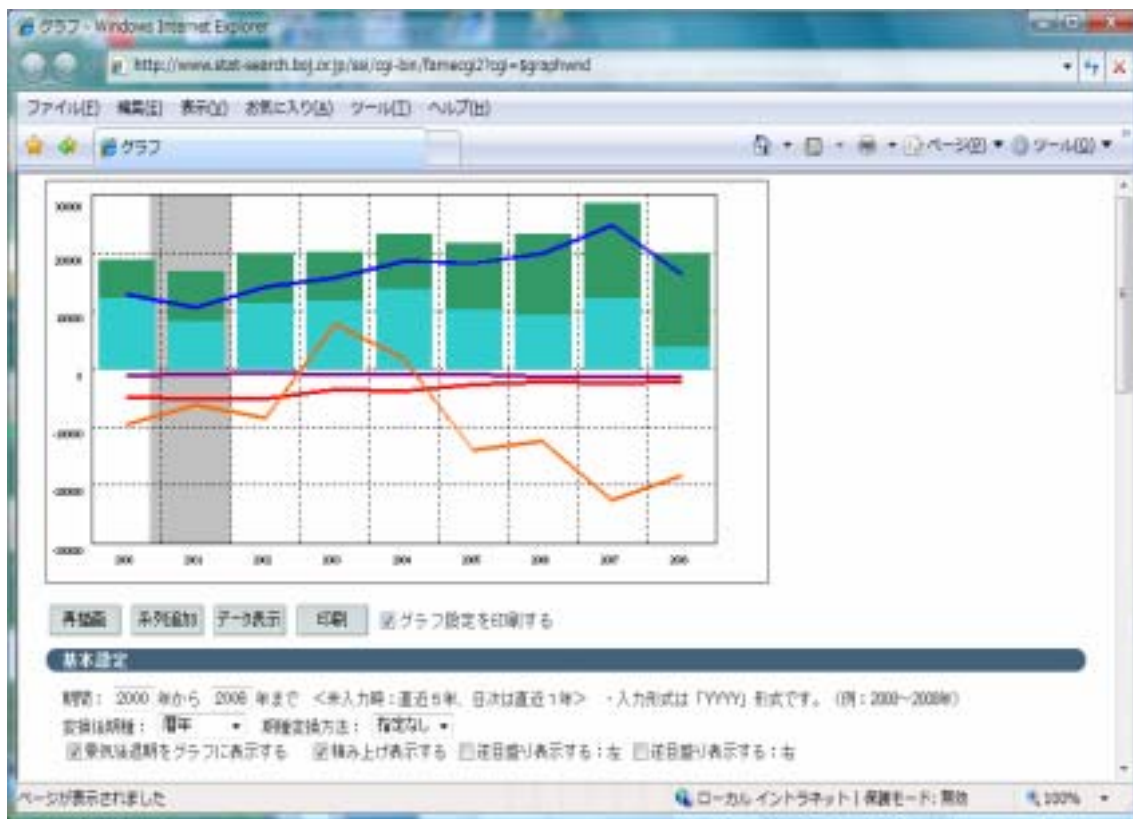
メニュー検索画面で追加するデータ系列を選択し「追加」ボタンをクリックすると、データ系列がグラフ画面に転送され、転送完了のメッセージが表示されます。

メニュー検索画面



追加する系列の期種が表示されているグラフの期種と異なる場合は、追加する系列を含めた対象系列の中の最も大きい期種に自動的に変換されます。

グラフ画面に、追加したデータ系列が折れ線グラフ（初期表示）で表示されます。



【系列設定】の下方には、追加したデータ系列の設定内容が表示されます。

グラフタイプ: 棒 軸: 右 色: 青

国勢調査 (国勢調査) (単位: 億円)

グラフタイプ: 棒 軸: 右 色: 緑

国勢調査 (国勢調査) (単位: 億円)

グラフタイプ: 棒 軸: 右 色: 赤

国勢調査 (国勢調査) (単位: 億円)

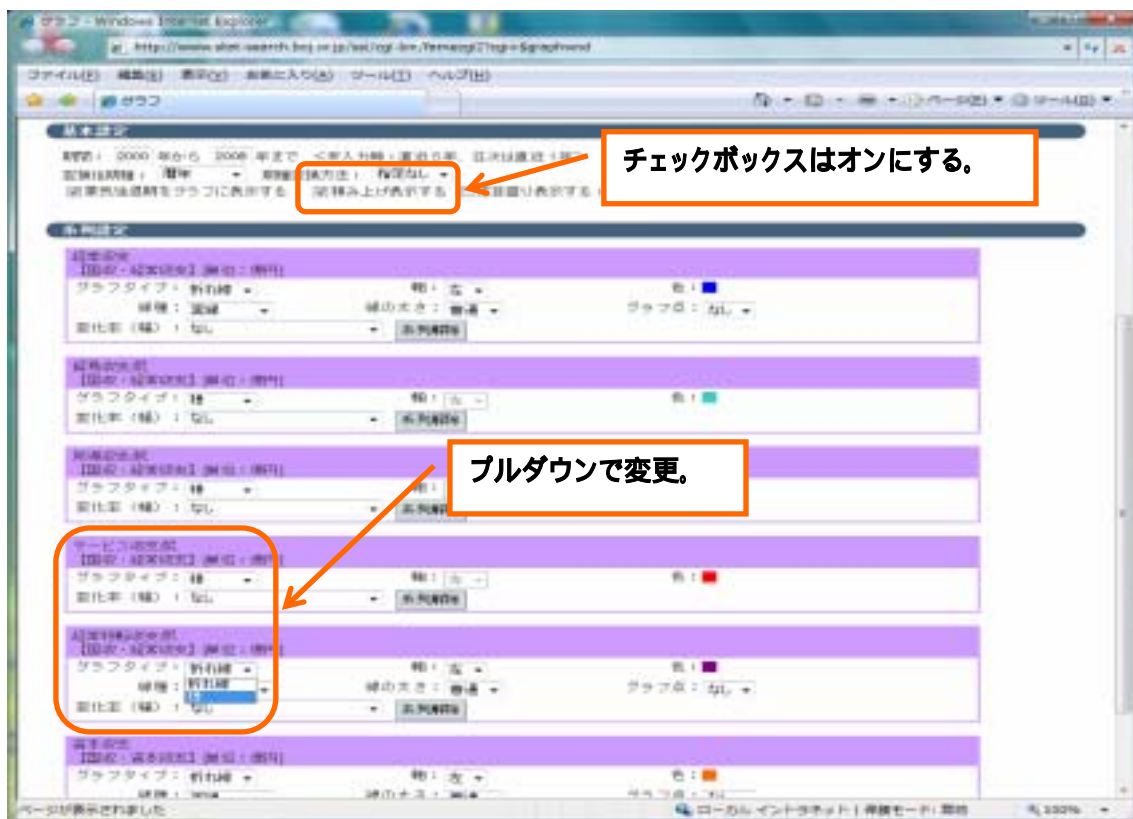
グラフタイプ: 棒 軸: 右 色: 紫

国勢調査 (国勢調査) (単位: 億円)

グラフタイプ: 棒 軸: 右 色: 黄

国勢調査 (国勢調査) (単位: 億円)

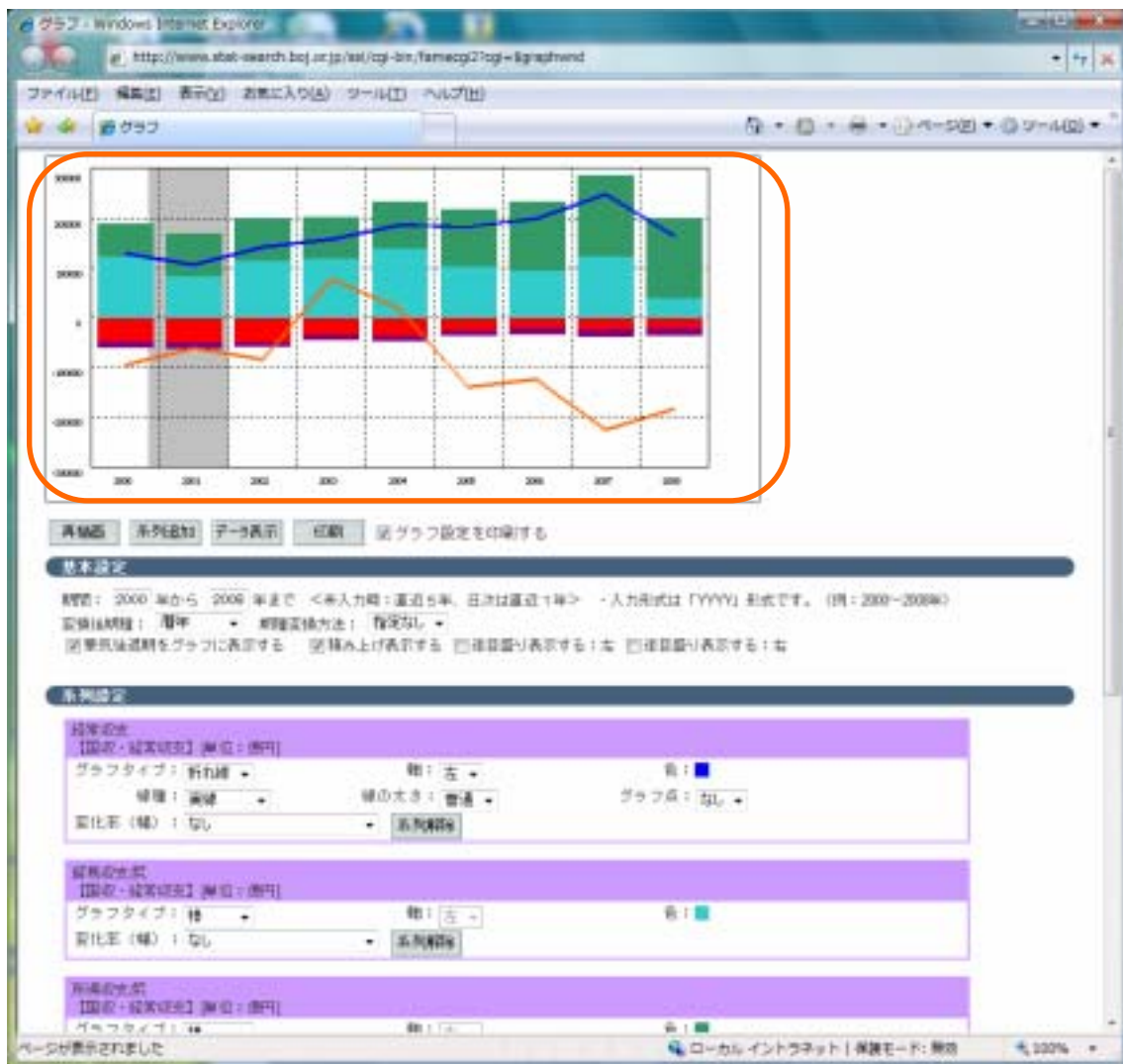
追加した3系列のうち2系列を積み上げ棒グラフにするために、2系列の「グラフタイプ」をプルダウンで「折れ線」から「棒」に変更します。この時、【基本設定】の「積み上げ表示する」のチェックボックスはオンになっていることが必須です。



グラフタイプ変更後、「再描画」ボタンをクリックします。



2本の折れ線と1本の積み上げ棒グラフに変更されます。
 グラフ画面（2本の折れ線と1本の積み上げ棒グラフ）



(4) データ系列を削除する

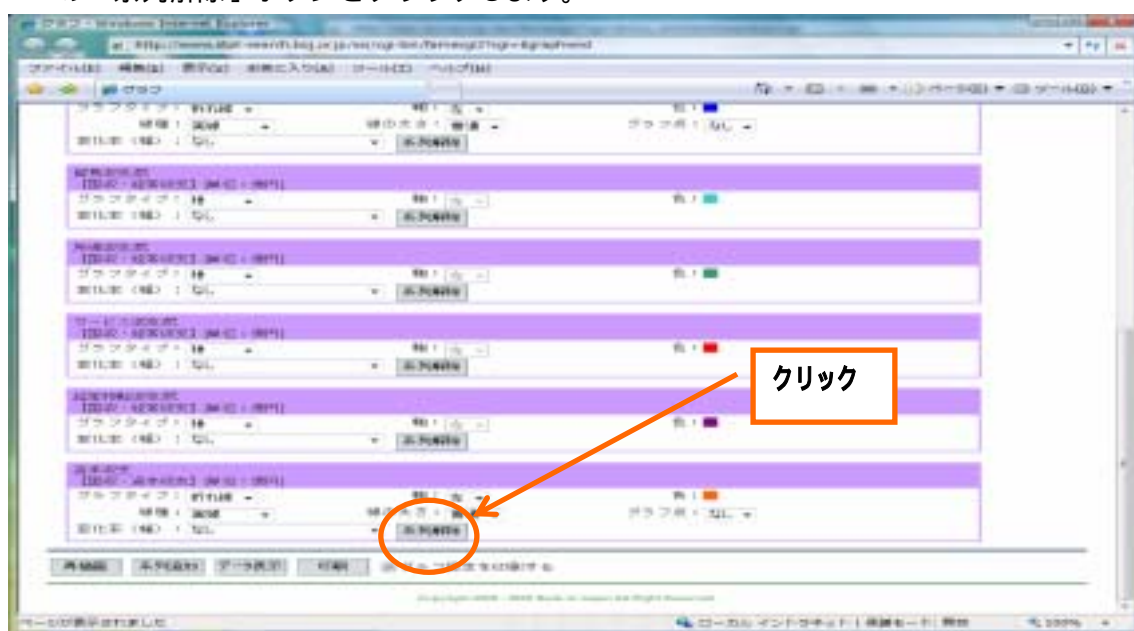
表示されているグラフから、データ系列を削除することができます。

オレンジ色の折れ線グラフのデータ系列を削除してみます。

グラフ画面（２本の折れ線と１本の積み上げ棒グラフ）

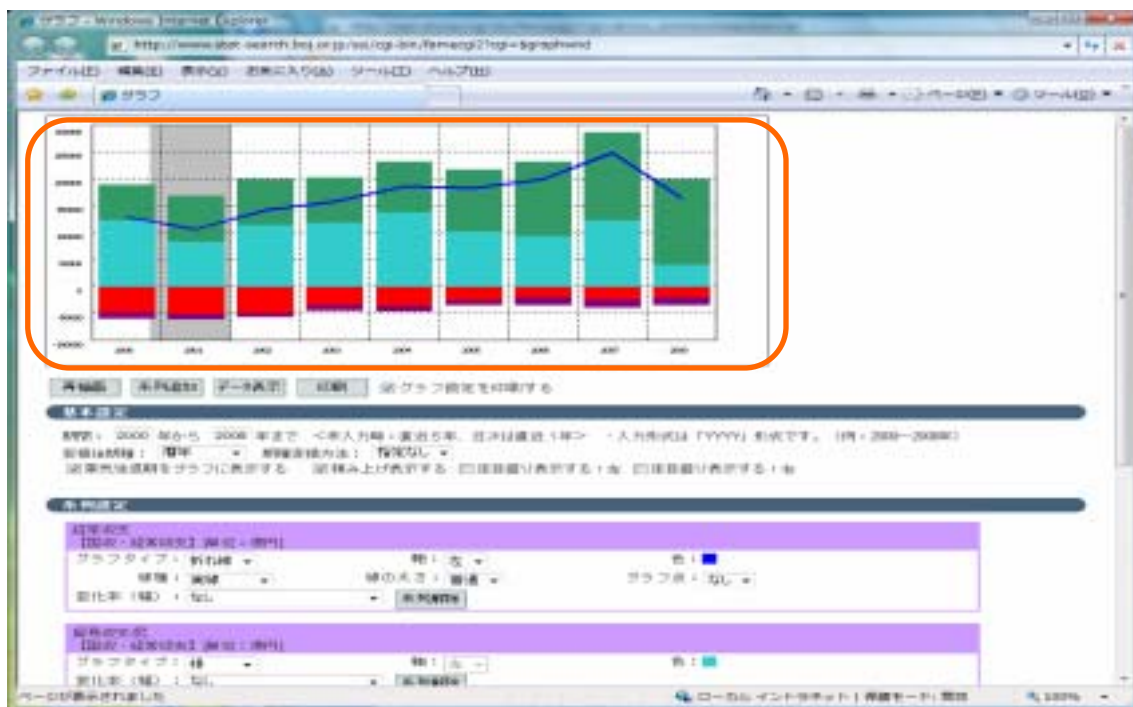


【系列設定】に表示されているデータ系列のうち、削除したいデータ系列（オレンジ色）の「系列解除」ボタンをクリックします。



グラフ画面からオレンジ色の折れ線グラフが消去され、【系列設定】からオレンジ色のデータ系列の設定表示が削除されます。

グラフ画面（1本の折れ線と1本の積み上げ棒グラフ）

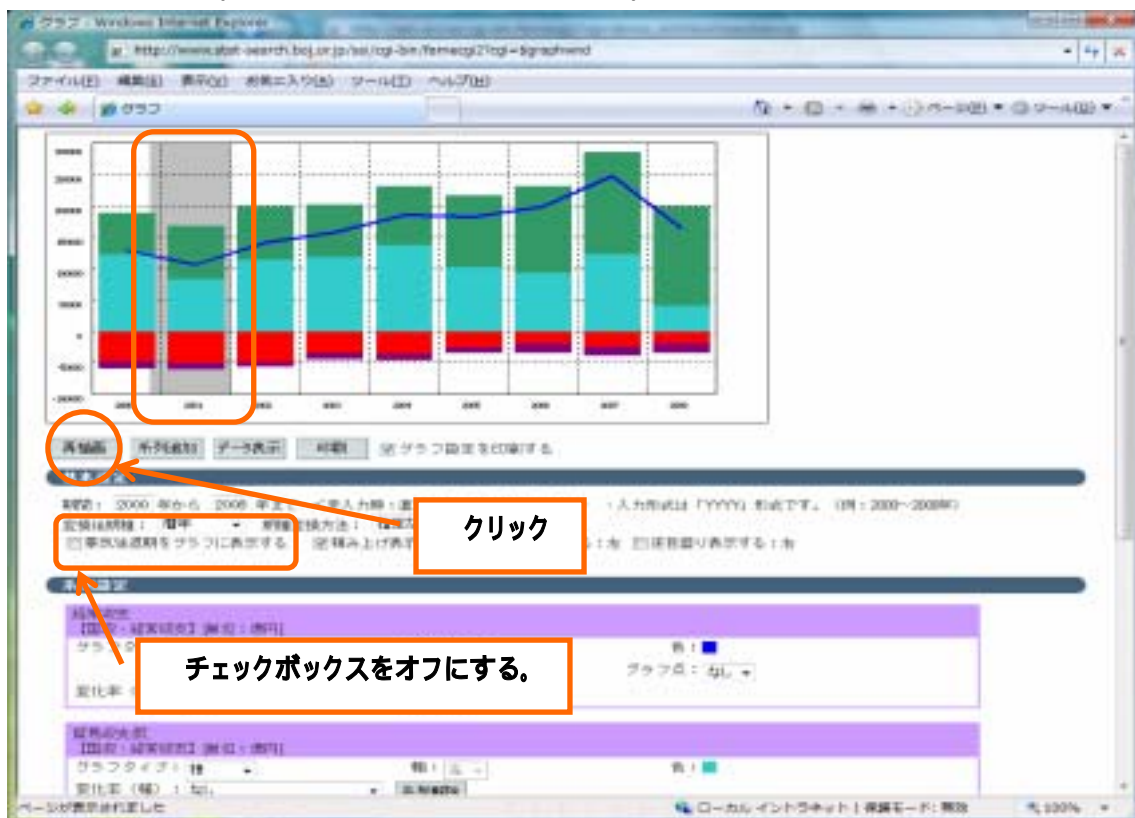


(5) 景気後退期を非表示にする

グラフを描くと初期設定として「景気後退期」が表示されますが、不要な場合は非表示にすることができます。

【基本設定】の「景気後退期をグラフに表示する」のチェックボックスをオフにします。
「再描画」ボタンをクリックします。

グラフ画面（景気後退期を表示＜初期設定＞）



景気後退期が非表示になります。

グラフ画面（景気後退期非表示）

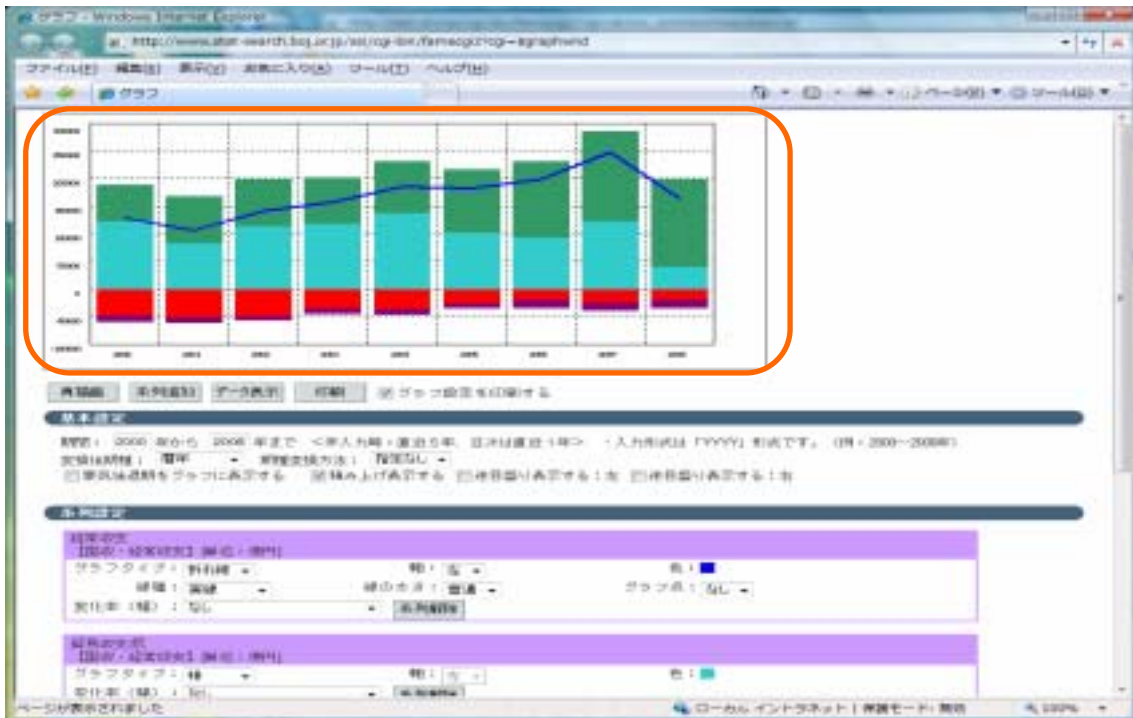


(6) 積み上げの順番を入れ替える

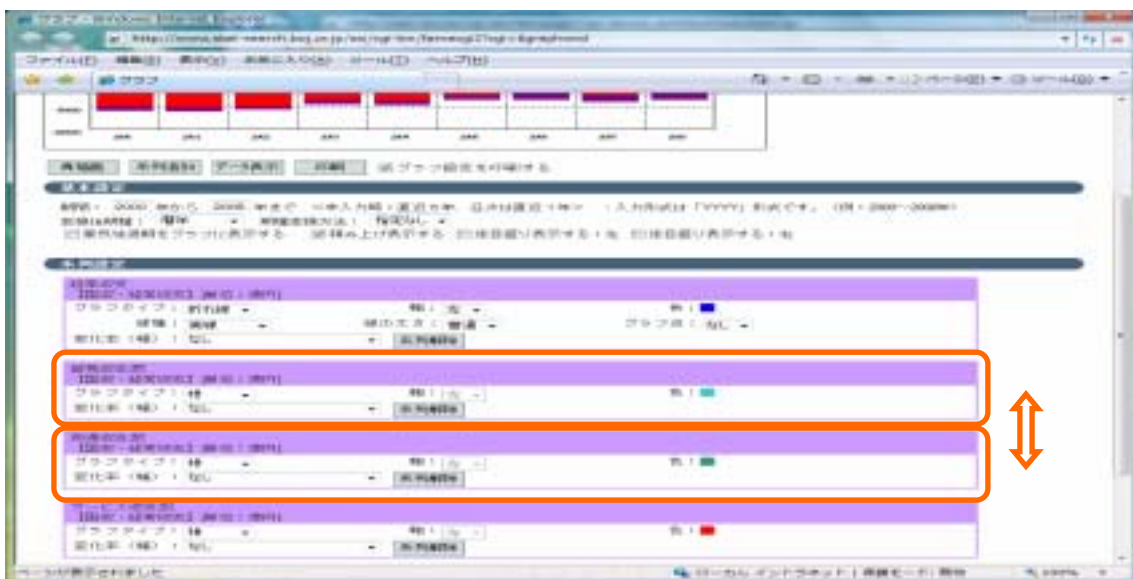
【系列設定】に表示されているデータ系列の順番をドラッグ&ドロップで入れ替えることにより、積み上げ棒グラフの積み上げ順を変更することができます。

系列設定に表示されている順番が上になっているデータ系列から先(0に近い位置)に積み上げられます。

グラフ画面(緑色のデータ系列が上になった積み上げ棒グラフ)



【系列設定】の水色のデータ系列と緑色のデータ系列をドラッグ&ドロップで入れ替えます。



水色のデータ系列設定を下方向にドラッグし、表示位置を緑色のデータ系列設定の下に移動させます。

「再描画」ボタンをクリックします。



水色のデータ系列が上に積み上がった棒グラフに変更されます。



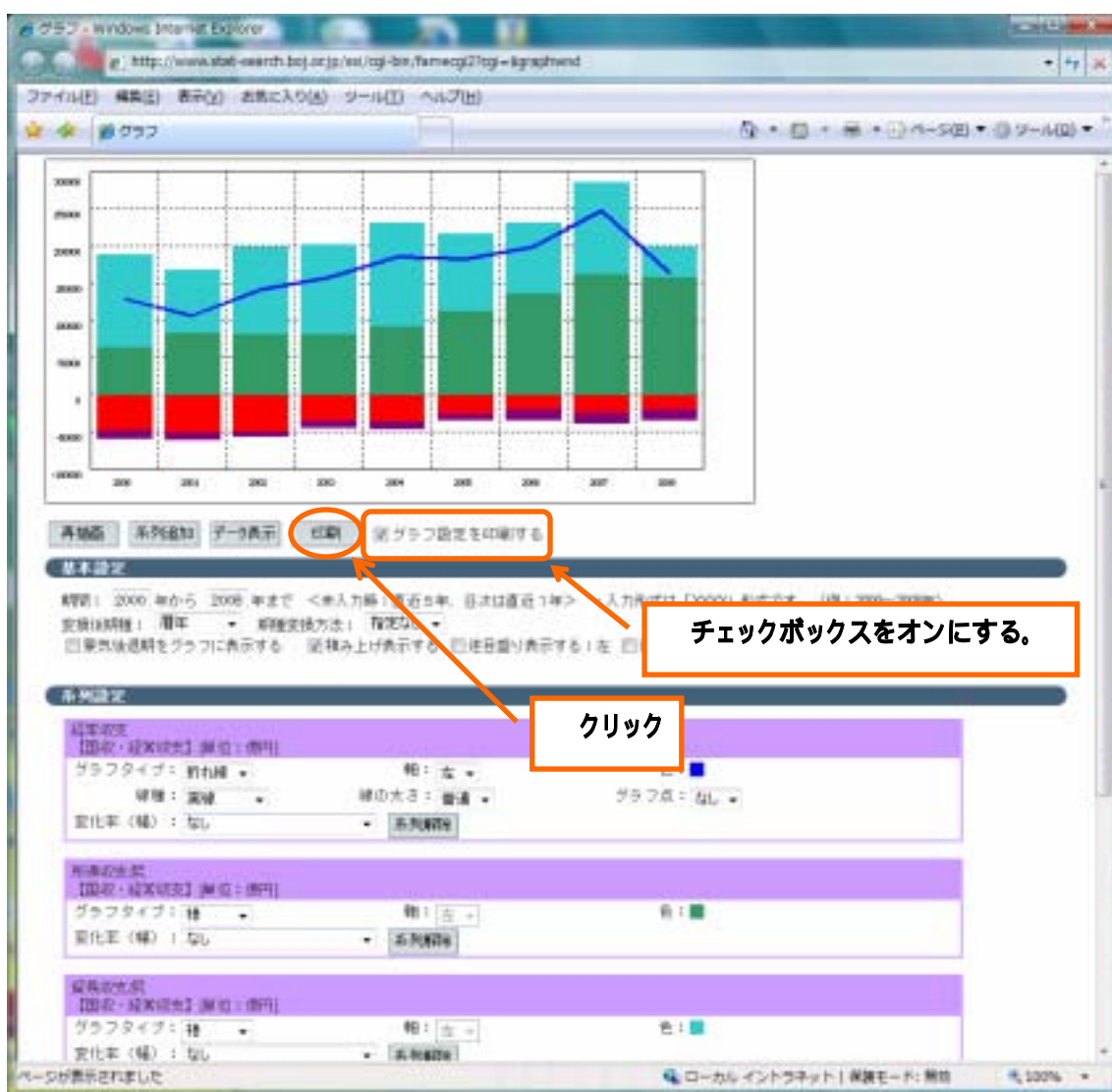
グラフを印刷する。

主要指標グラフや、検索データを使って描いたグラフを印刷することができます。

(1) グラフと一緒に「基本設定」や「系列設定」などのグラフ情報を印刷する

「印刷」ボタン横の「グラフ設定を印刷する」のチェックボックスをオンにして、「印刷」ボタンをクリックします。

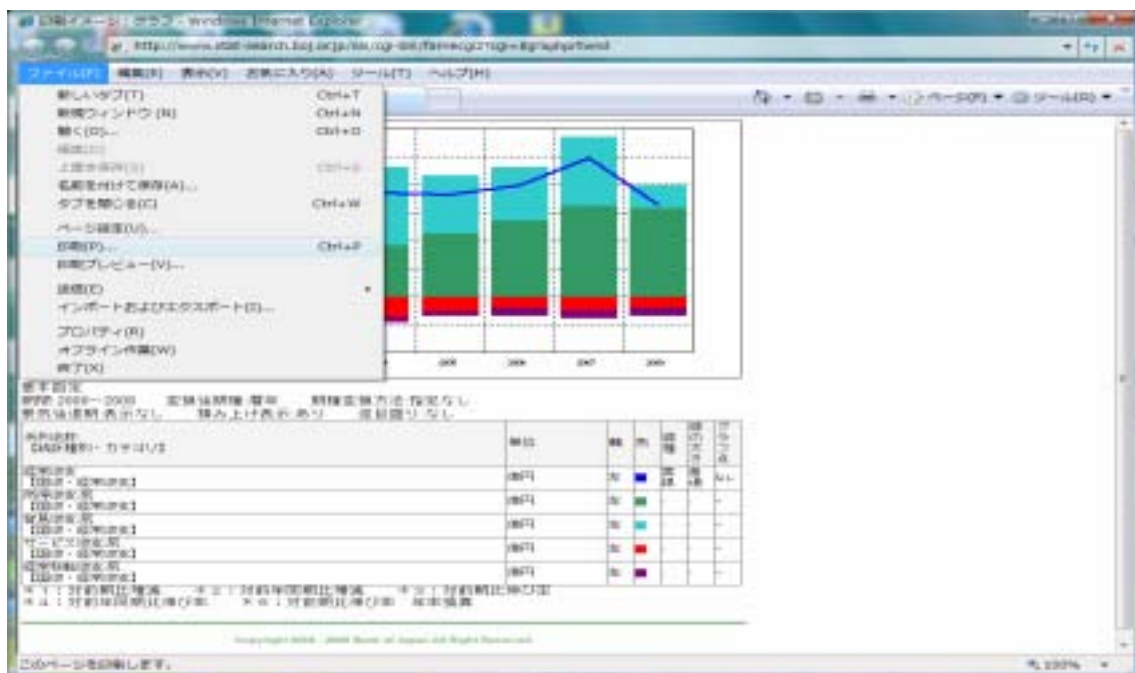
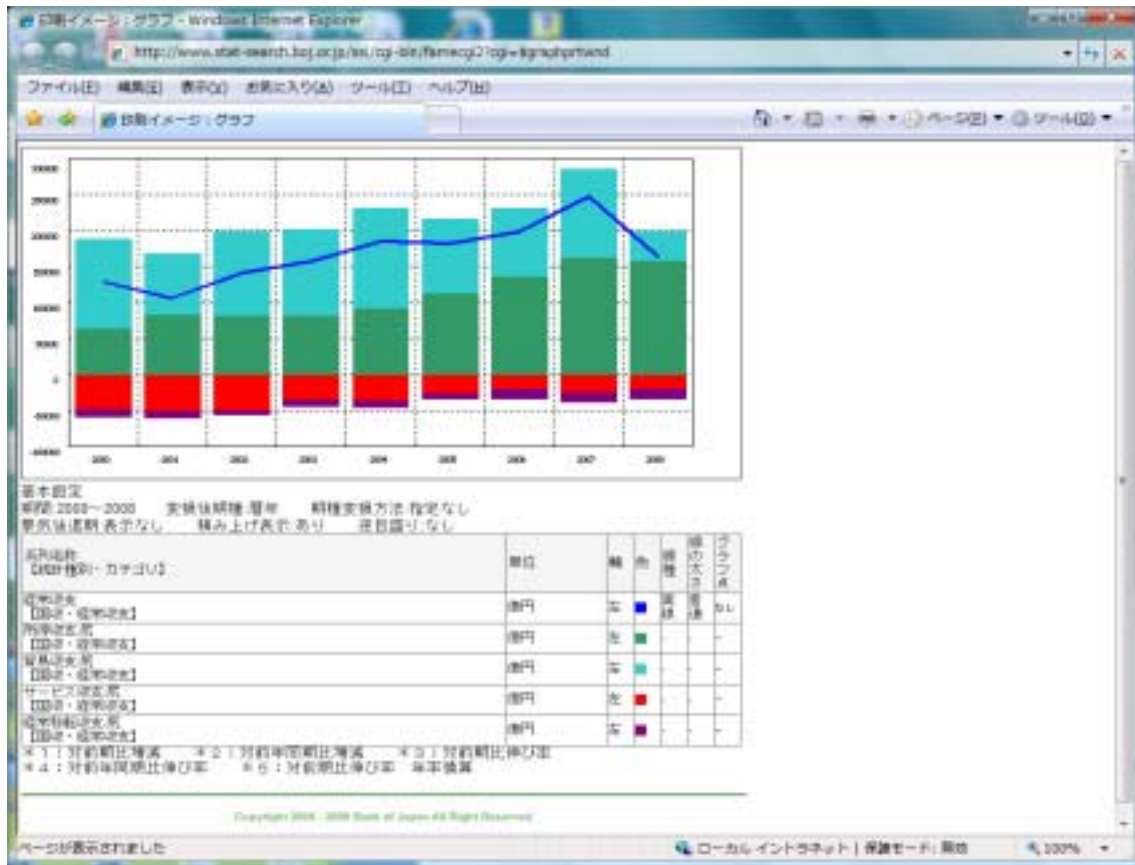
グラフ画面



印刷イメージ画面が表示されるので、メニューバーのファイル（F）印刷（P）などで印刷します。

印刷方法は、お使いのブラウザによって異なります。

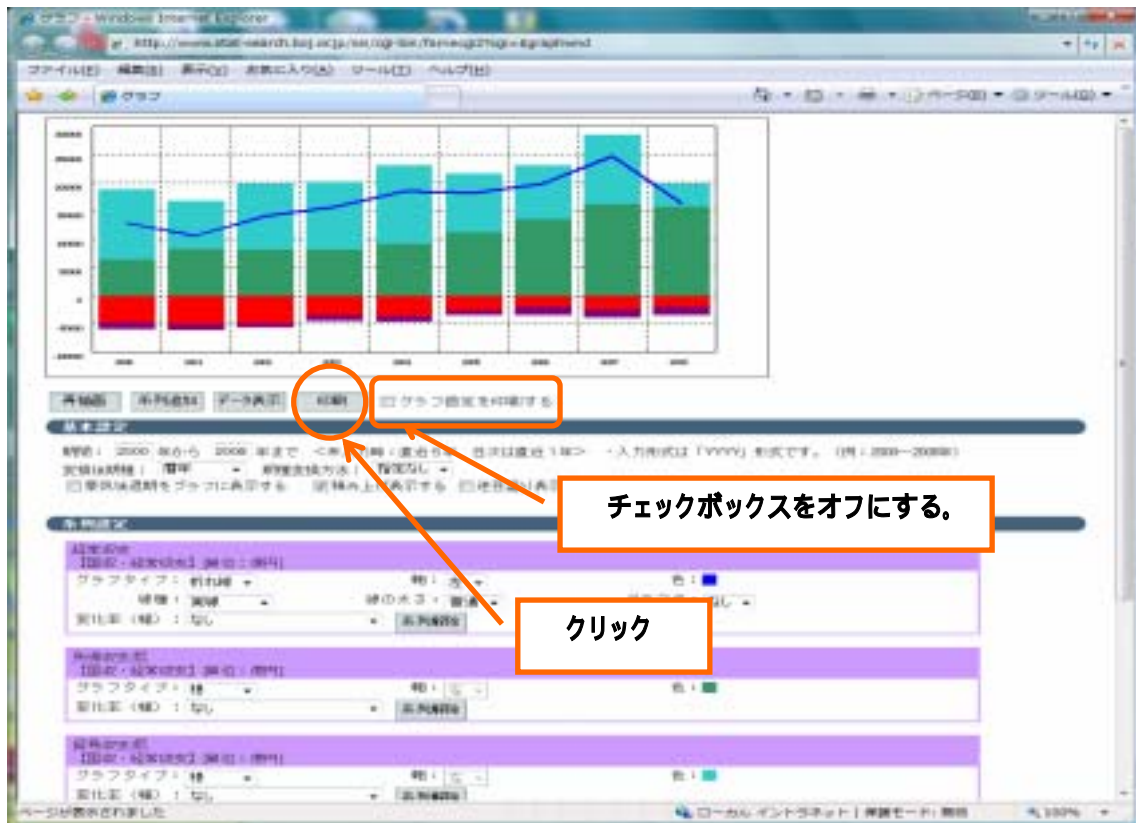
印刷イメージ画面（グラフ情報の印刷有）



(2) グラフのみを印刷する

「グラフ設定を印刷する」のチェックボックスをオフにして、「印刷」ボタンをクリックします。印刷方法は「グラフ情報の印刷有」と同様です。

グラフ画面



印刷イメージ画面（グラフ情報の印刷無）

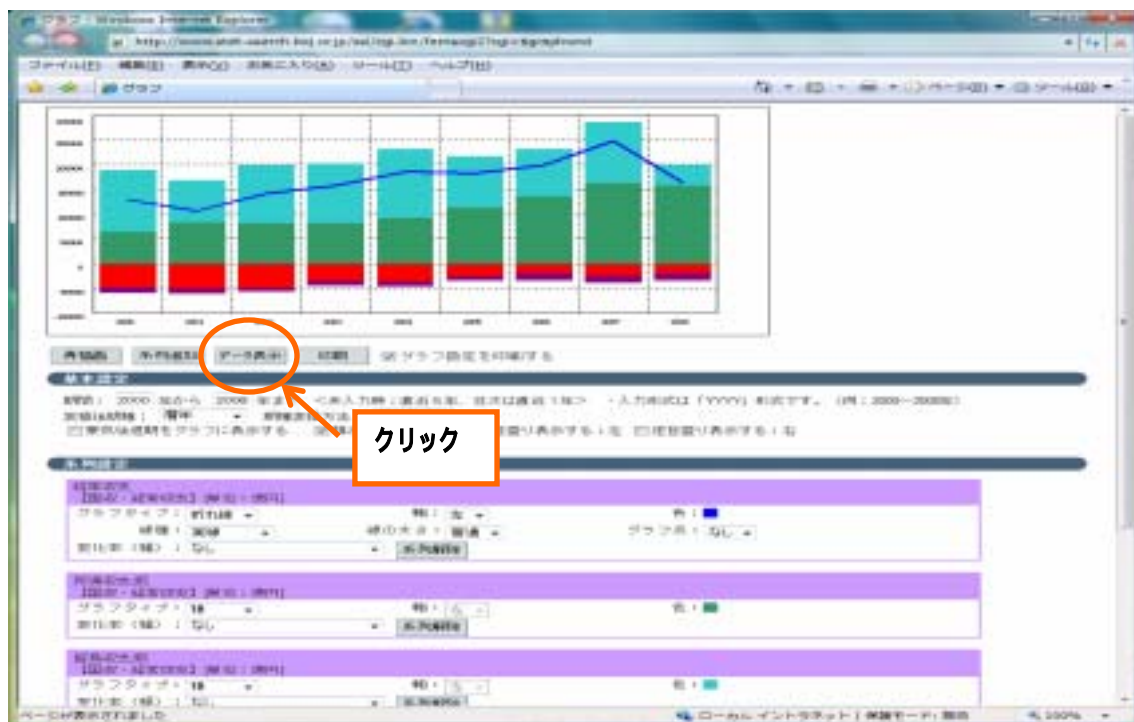


グラフの情報やデータを確認する。

主要指標グラフや検索データを使って描いたグラフは、グラフを表示させた後でデータ系列の値や情報を確認することができます。

確認したいグラフ画面で「データ表示」ボタンをクリックします。

グラフ画面



「抽出結果(グラフ)」画面が表示されるので、データ系列の情報を確認したい場合は「データ系列情報表示」を、データ内容を確認したい場合は「時系列データ表示」のリンクをクリックします。

抽出結果(グラフ)画面

「データ系列情報表示（グラフ）」ではデータ系列の情報が確認できます。

データ系列情報表示（グラフ）画面

データコード	系列名称	単位	更新頻度	更新日
GDPGDPYH00	国内総生産	億円	四半次	2010/03/31
系列名称（英字）	GDP			
統計種別・カテゴリ	国内・経済成長			
統計種別・カテゴリ（英字）	GDP			
収録開始期	1955/01			
収録終了期	2010/03			
備考				
備考（英字）				

データコード	系列名称	単位	更新頻度	更新日
GDPGDPYH01	国内総生産（速報値）	億円	四半次	2010/03/31
系列名称（英字）	GDP (Preliminary)			
統計種別・カテゴリ	国内・経済成長			
統計種別・カテゴリ（英字）	GDP			
収録開始期	1955/01			
収録終了期	2010/03			
備考				
備考（英字）				

データコード	系列名称	単位	更新頻度	更新日
GDPGDPYH02	国内総生産（修正値）	億円	四半次	2010/03/31
系列名称（英字）	GDP (Revised)			
統計種別・カテゴリ	国内・経済成長			
統計種別・カテゴリ（英字）	GDP			
収録開始期	1955/01			
収録終了期	2010/03			
備考				
備考（英字）				

「時系列データ表示（グラフ）」ではデータ内容が確認できます。

時系列データ表示（グラフ）画面

	GDPGDPYH00 国内総生産	GDPGDPYH01 国内総生産（速報値）	GDPGDPYH02 国内総生産（修正値）	GDPGDPYH03 サービス業総生産	GDPGDPYH04 産業別総生産
2000	122756	69922	123719	-69420	-10095
2001	108524	84995	84015	-51893	-9804
2002	141397	83906	115565	-50814	-5958
2003	157988	82816	119798	-36213	-8898
2004	188184	82732	130022	-37062	-8510
2005	182591	113816	103348	-26418	-8156
2006	198488	137419	94643	-21162	-13430
2007	247939	163267	123225	-26971	-13580
2008	163788	158415	40277	-21380	-13117

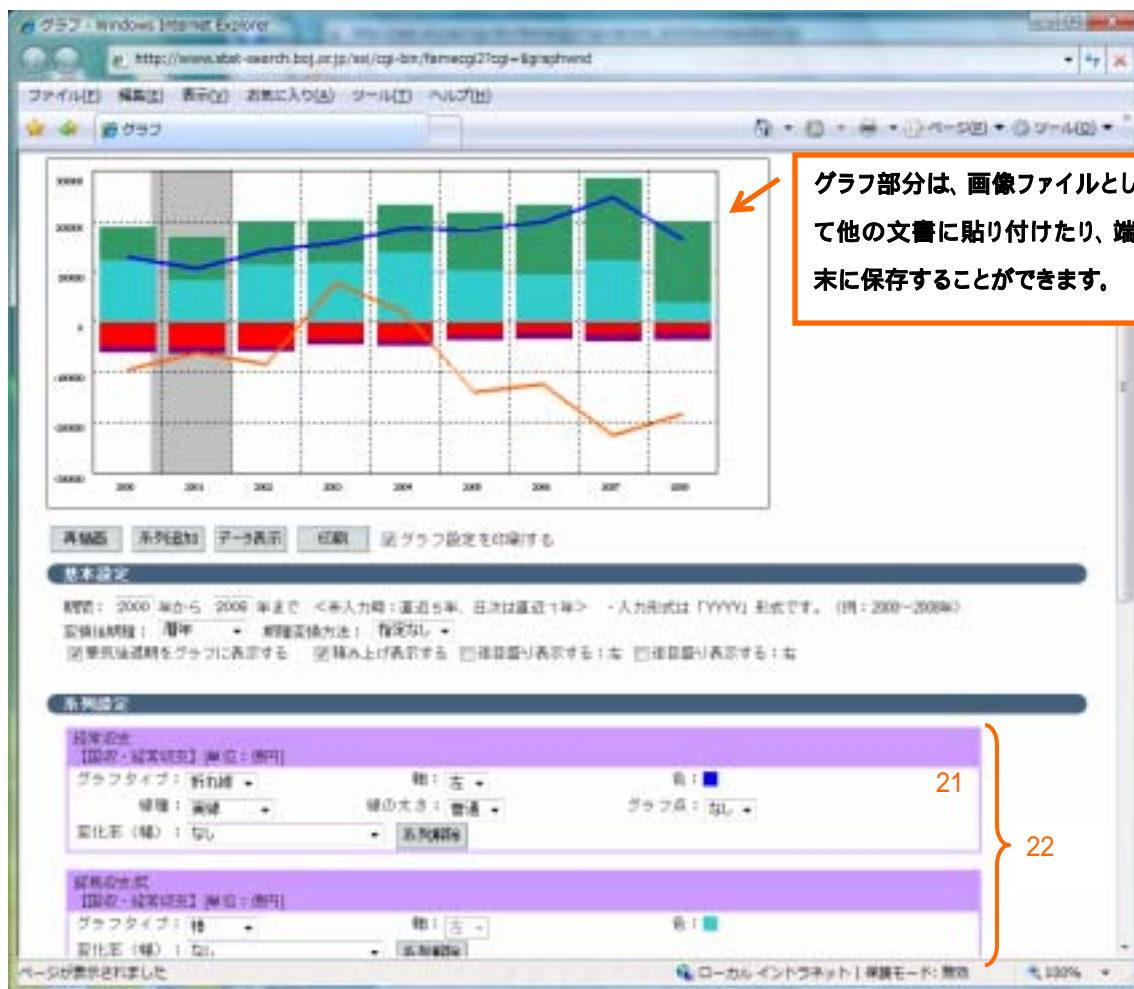
「データ系列情報表示」と「時系列データ表示」ボタンをクリックして、両画面を切り替えることができます。

なお、グラフを描きかえたい場合はP.29「グラフを描きかえる」参照。

グラフ画面の機能説明

グラフ画面の機能については以下のとおりです。各機能を使って表示されているグラフを変更することができます。

グラフ画面



各機能の説明

基本設定や系列設定を変更した場合、変更内容に従ってグラフを再描画するときにクリックします。

系列を追加する場合にクリックします。系列追加画面 1 が表示されます。

データ系列の値や情報を確認するときにクリックします。

グラフを印刷する場合にクリックします。印刷イメージ画面が表示されます。

印刷イメージ画面にグラフ設定情報を表示する場合にチェックボックスをオンにします。

グラフの期間を変更します。

グラフの期種を変更します。

期種変換方法を変更します。

グラフに景気後退期を表示する場合にチェックボックスをオンにします。

棒グラフの系列全てを順に積み上げて表示する場合にチェックボックスをオンにします。

グラフの左軸に対して逆目盛り表示を行う場合にチェックボックスをオンにします。

グラフの右軸に対して逆目盛り表示を行う場合にチェックボックスをオンにします。

グラフの種類を選択します。

グラフの軸の左右を選びます（棒グラフでは自動的に左軸に固定されます）。

グラフの色を変更する場合にクリックします。色選択画面 2 が表示されます。

折れ線グラフの線種を選択します。

折れ線グラフの太さを選択します。

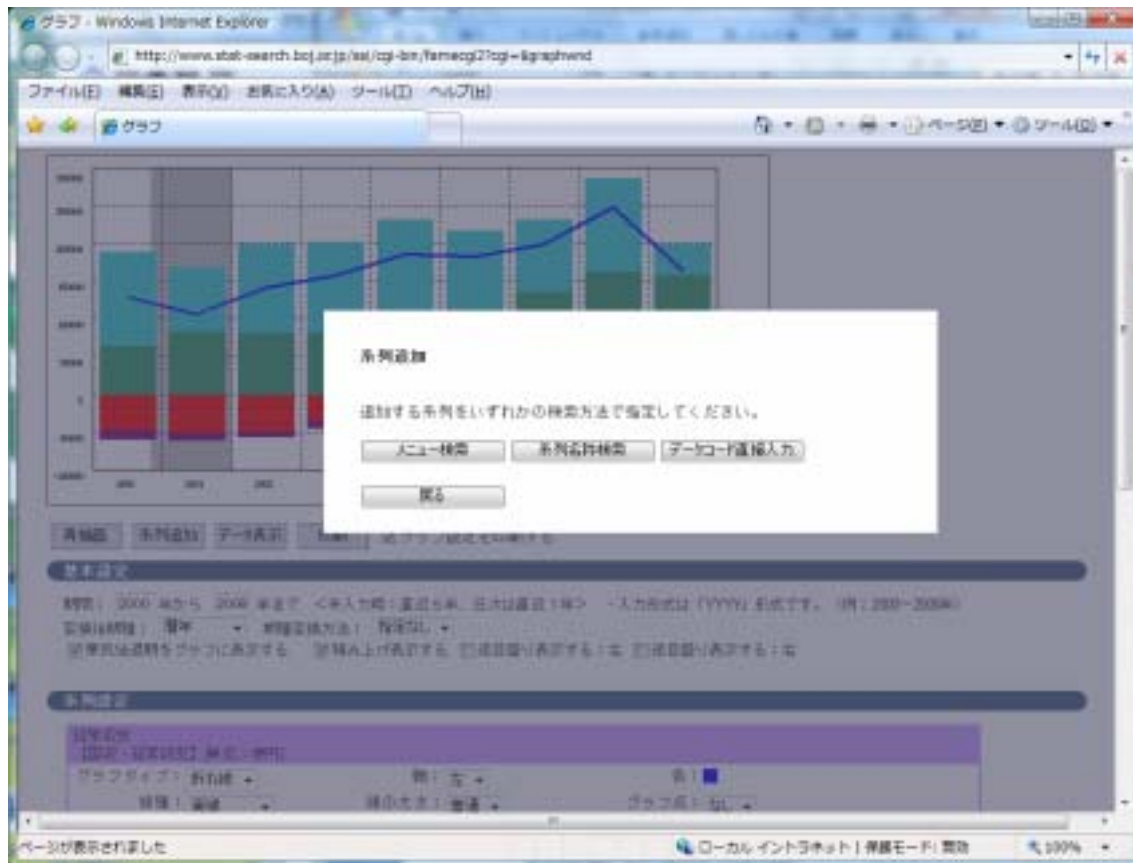
折れ線グラフのグラフ点を選択します。

データ系列を変化率（幅）に加工してグラフを描く場合に選択します。

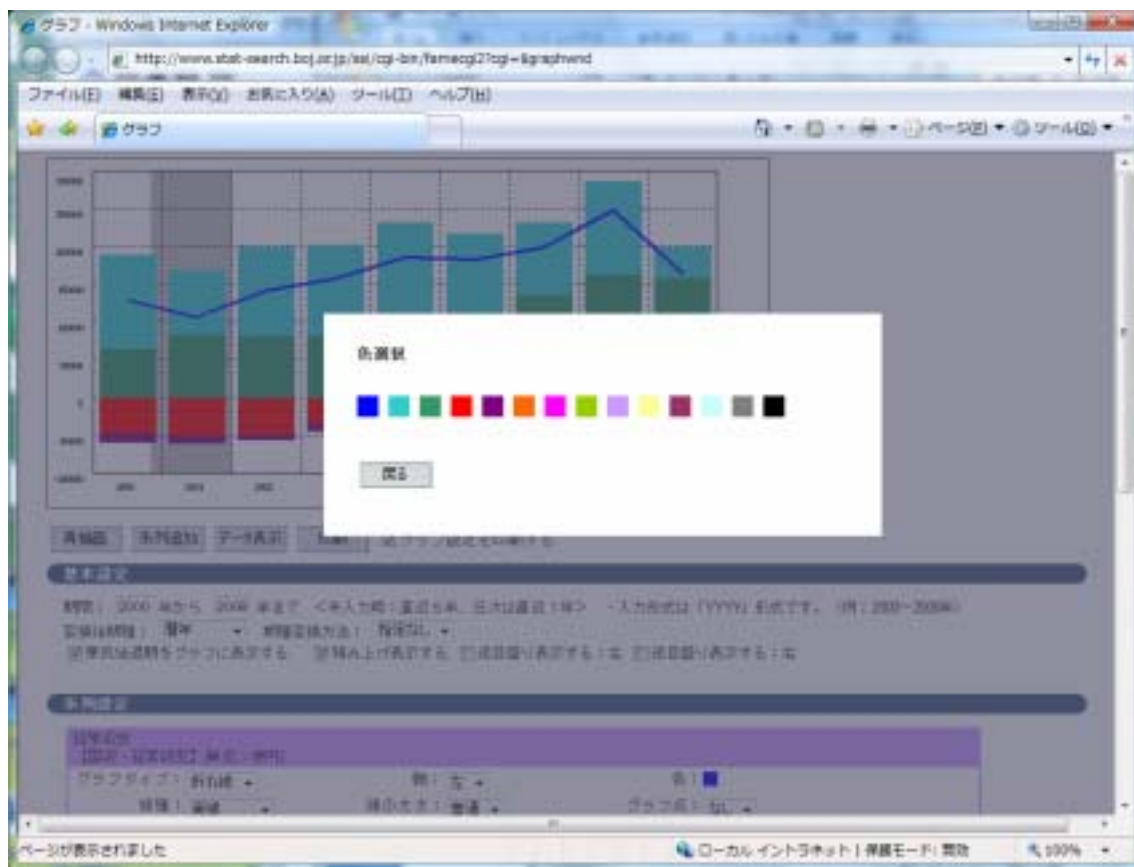
グラフおよび系列設定から選択した系列を削除する場合にクリックします。

- 21 各系列設定の枠内でダブルクリックすると、系列設定の表示 非表示の切替えができます。
- 22 グラフタイプが「棒」の系列設定の表示順をドラッグ&ドロップで入れ替えて、棒グラフの表示順を変更することができます。

1 系列追加画面



2 色選択画面



以 上